

新型コロナウイルス
との戦いの記録
その時、有田病院で何が!?

済生

SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1092

6

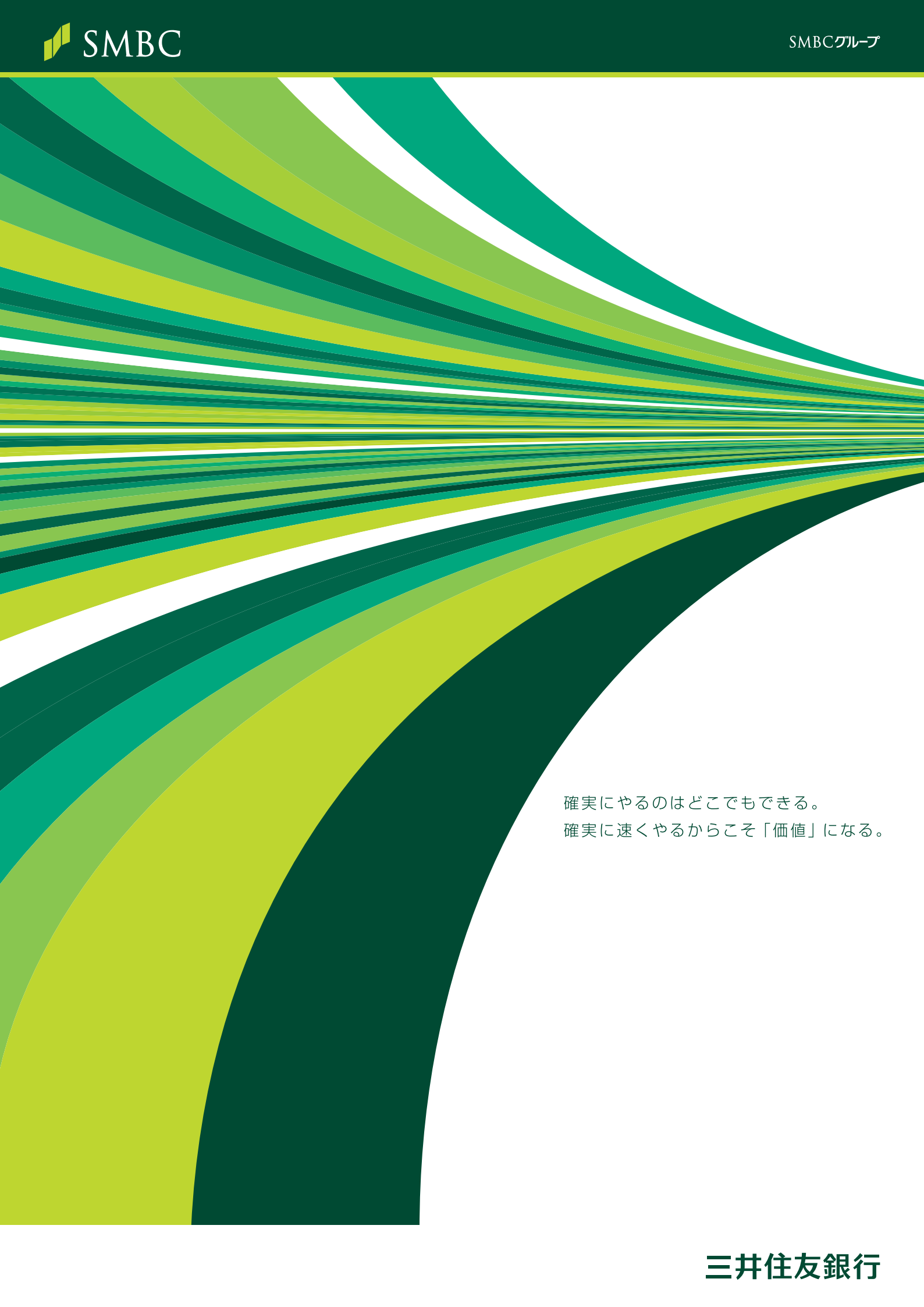
June 2020

<https://www.saiseikai.or.jp>

社会福祉法人

恩賜
財団

済生会



確実にやるのはどこでもできる。
確実に速くやるからこそ「価値」になる。

済生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂

Shigeru Sumitani

国際感染症常在時代を生きる

日 本人は、感染症の恐怖を忘却するという大きな誤りを犯していた。かつて日本人の最大の懸念だった結核をはじめ、コレラ、チフス等を心配する人は、少なくなった。

政治や行政も感染症対策を軽視してきた。保健所業務では感染症対策のウエイトが低下して

いた。保健所や地方衛生研究所は、行政改革の対象とされ、定員や予算が削減されてきた。保健所の名称が消え、住民が保健所という名称を知らない地域さえ出ている。

医療提供体制の整備も同様だった。国が強力に進めている地域医療構想では感染症医療が軽

視されている。

新型コロナウイルスは、日本全体の医療保健体制の危機管理の甘さを突いた。

一方、疫病は、人類の歴史を変えてきた。ペストが教会の權威を失墜させ、中世を終焉させた。アテネ文明はペスト、ローマ帝国は天然痘やマラリアなどによって崩壊が早められた。

スペイン風邪は、終息するまで3年間要したが、新型コロナウイルスは、同様な覚悟がいる。日本でいったん制圧されても、グローバル化が進んだ今日では、途上国等の感染地域からの再侵入は、防衛できない。しかも新型コロナウイルスの制圧後も、途上国の奥地に潜む新しいウイルスが、時を置かず、必ず世界を襲ってくる。

感染症の恐怖は一時的なことではなく、社会を根底から脅かし、文明さえも変える。国際感染症が、常在する時代になった。

☆ ☆

国際感染症常在の時代に対応できる体制整備を急がねばならない。新型コロナウイルス対策の政府の専門家会議が5月初め、「新しい生活様式」を示したが、

急場しのぎの対策に過ぎない。

求められるのは、未知のウイルスとも共存できるように社会・経済・行政構造全般を根本的に変革することだ。ウイルス感染が発生しても、健康、生活、就労、文化を住民が助け合って守り、向上することができる強固なコミュニティを形成できれば、心配は無用だ。このためにはソーシャルインクルージョンの定着を急がねばならない。

今回、かなりの国は、食糧の輸出禁止を実施したうえ、国際間の物流も途絶えたので、食糧の入手困難、価格の高騰を招いた。将来に備え、自給率を向上させるため、地産地消を進めることが必要だ。

自治体の役割が一層重要になる。保健・医療・福祉の分野について権限と責任を国から全面的に自治体に移し、迅速な対策が行なえる行政構造に改めねばならない。デジタル化の推進なども必要だ。

いずれも質の高い生活の実現につながる。この中で済生会の果たさねばならない役割が増大していく。積極的な取り組みが求められる。





題字協力：石飛博光

アートディレクション：
OVO INTERNATIONAL

済生

SAISEI

CONTENTS

JUNE, 2020

NEWSな済生人

精神疾患は“見えない障害”
誤解や偏見をなくし、社会全体で支える時代へ
〈埼玉・鴻巣〉
なでしこメンタルクリニック 院長

白石弘巳さん 06

新型コロナウイルスとの戦いの記録

その時、有田病院で何が!?

〈和歌山〉有田病院 国内初！医師の感染判明——伊藤秀一院長（当時）の記録／PCR検査の迅速・確実な実施で、感染拡大を抑える／接触者外来を開設。救急室では救急当番医が対応し、かかりつけ患者の不安に応える／通院中の慢性患者専用窓口「お薬相談コーナー」開設。薬剤師が駐車場まで薬を配達／看護部ではアルコール清拭などを徹底。委託業者への感染防止研修も

10

〈東京〉中央病院附属乳児院 100年前同様、幼い命を全力で守る！

16

総裁・秋篠宮皇嗣殿下 ご一家から手づくりガウン

18

〔治療薬とワクチンの現状〕開発も国民全体で取り組みを／〔企業からの寄贈続々〕たくさんのご厚意が届く／京都府病院 風評被害に苦しむ職員たちの本音／岡山済生会看護専門学校 授業計画が大幅に変更。遠隔授業を初導入

20

各施設から 〈佐賀〉唐津病院／〈島根〉江津総合病院／〈新潟〉特養長和園／長崎病院／福島総合病院 その他・全26施設28件 36

巻頭コラム 済生会の不易流行論 03

国際感染症常在時代を生きる 理事長 炭谷 茂

なでしこナースのストーリー 28

TOPICS 50

載々、大雑報 60

6月のたよりが聞こえる——ホテルのチカラ
表紙のことば 久保田真由美 05

この人 浅田美代子 30

口福につぼん 吉井省一 32

だれでもかんたん てづくりおもちゃ
いまいみさ 34

6月のたよりが聞こえる

ホタルのチカラ

目 本には数十種類のホタルが生息しているが、有名なものはゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの三種類。

名前の由来は諸説あるが、ゲンジボタルは、「源氏物語」の光源氏からとったものだったが、それがいつの間にか源平の時代に戦に勝った源氏「ゲンジボタル」に対し、滅んだ平家「体が小さいのでヘイケボタルと呼ばれるようになった。ヒメボタルはそれよりも小型なので「ヒメ」。

虫の世界でも源氏と比べられる平家はさぞかし悔しい思いをしているだろう。

ホタルはその一生のほとんどを水

中と土中で過ごす。幼虫時代に小さな貝類を食べて生きる。この時にどれだけ栄養を蓄えたかでその後の人生（虫生？）が変わる。

しかし、これはホタルだけのことでない。人の世界にも言えること。何を心の栄養にして、どんな選択をしていくのか。

「ほ、ほ、ホタルこい こっちの水はあまいぞ あっちの水はにがいぞ」

この歌のように、成長してからも誘惑は多い。

自分だけなら、少しだけなら、とつい「あまい水」の方へふらふらと引き寄せられる。

でも、どうしてもここで堪えなくては、という時がある。きつと、そこを超えたときホタルのように光る。

一匹のホタルだけなら、光は弱い、町中の、日本中の、世界中のホタルが光つたら、それは素晴らしくうつくしいだろう。

もうすでに懸命に光を放っている数多くのホタルはいる。

またひとつ、もうひとつと、わずかずつつも増やしていこう。（S）

表紙のことは

ホタルはきっと、もっと明るかった

表紙イラスト 久保田真由美 Mayumi Kubota

今は夜も明るくなりました。街中では外灯で真夜中でも遠くまで見ることができます。150年前までは電気もなく蝋燭や提灯の灯り。月のない夜はどれほど暗かったことでしょう。1000年も昔の

清少納言の枕草子の「夏のをかし」にはたらの多くとびちがいたると書かれています。夜が暗かった分、夏の夜の始まりを彩るホタルの舞は今より光って見えていたことでしょう。

NEWSな済生人 Interview

2年前、JR鴻巣駅直結のビルに開業した「なでしこメンタルクリニック」は、済生会唯一の精神科単科病院・鴻巣病院が積極的に心の不調に悩む市民に手を差し伸べていくための拠点となる施設です。入院中心から住み慣れた街で生活しながらの治療へ。精神疾患に悩む人や精神障害者が安心して暮らせるソーシャルインクルージョンの「まちづくり」に取り組み院長の白石弘巳さんにその活動を聞きました。

（鴻巣病院 総務課 栗原順一）

栗原 高崎線鴻巣駅の改札から徒歩1分、ショッピングモールに隣接する駅ビルの4階にクリニックがあります。アクセスの良さで、精神科の数は低くなりましたが、白石 これまで、医療や福祉の手が届きにくかった精神障害者の声に耳を傾けたり、精神科を退院して自宅やグループホームで療養する人たちを支える環境の整備が求められていました。その一方で、多様化する現代社会では、うつ病などの精神疾患の病相も変わってきています。精神科医療は、地域の精神衛生を支え、住民の「こころの

精神疾患は「見えない障害」 誤解や偏見をなくし、社会全体で支える時代へ

〈埼玉・鴻巣〉なでしこメンタルクリニック 院長

白石弘巳さん

新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、インタビュアーは当該施設の済生記者が務めます。また、写真撮影時のみマスクを外しています

健康」を守っていく使命があります。そのために、誰でも気軽にメンタルヘルスの相談ができ、軽症のうちから受診できる医療機関が必要でした。



クリニックが入る駅ビル

栗原 そこで、駅近に？

白石 そうしたニーズに応えるには、アクセスの良さが重要となります。

栗原 どのような患者さんが訪れますか。

白石 人間関係でつまずき、会社や学校に行けなくなった人、子育てを困難に感じる主婦などさまざまです。適応障害や比較的軽いうつ病などで、入院の必要はないが、日常生活に支障が生じて治療を要する人が多いですね。中には「初めて飛行機に乗るので心配で……」という患者さんもありまし

心の健康を守る身近なスペシャリスト



た。

栗原 そういう患者さんも？

白石 悩みは人それぞれです。きちんと患者さんの話を聞いて、必要に応じて症状にあったお薬を処方します。

栗原 本当にいろいろですね。

白石 高所恐怖・閉所恐怖などの不安障害

があれば、抗不安薬などを処方します。統合失調症や、抑うつ状態と躁状態を交互に繰り返す双極性障害などの患者さんも増えてきました。全体では1カ月に平均50人の新患が外来受診しています。患者さんの平

均年齢は38歳で、鴻巣病院の58歳に比べて若いのが特徴です。

栗原 精神疾患は、例えば血液検査をして診断する病気と異なり、治療が一筋縄ではないということもあるのでは？

白石 その通りです。治療も長期の経過をたどることが多いため、患者さんには自身の疾患と向き合ってもらい、医師らと協力して治療を進めていくことが重要です。多職種が関わり、さまざまな社会資源を利用し支援を受けることで、症状を改善させていくのが基本になります。

栗原 うつ病は自殺に至るリスクの高い疾患だと思いますが、近年、自殺者数は減少



こころの不調はカウンセリングによる治療も重要

多職種が自宅や地域を訪問、 心の病や精神障害者を支援する事業も



医師、精神保健福祉士、臨床心理士等のチームでサポート

傾向にあります。

白石 それまで2万5千人だった自殺者数が急激に増加し、3万人を超えたのは、1997年から98年にかけてで

す。当時は山一證券の自主廃業など、不景気時代の始まりが背景にありました。その後、2003年の3万4千人をピークに減少、19年には2万169人と、1978年の統計開始以来、最少となりました。ただし、年代別で見ると10代だけはここ3年間、増え続けています。

栗原 このクリニックにも未成年の受診はありますか。

白石 不登校の方のほか、「自分はアスペルガー症候群や注意欠陥多動性障害などの発達障害ではないか」と心配して受診する人が増えていて、当院にも小中高生が保護者に連れられて受診して来ます。

復職支援や精神疾患の啓発活動、 地域への訪問支援も

栗原 国が進める「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」では、どのような取り組みをしていますか。

白石 2018年から国の新たな政策として「アウトリーチ支援事業」が始まっています。埼玉県では鴻巣病院が先陣を切って事業を開始。当クリニックは同院と連携して、今年から鴻巣市を中心に近隣の加須市・東松山市にもエリアを広げています。

栗原 どのような取り組みですか？

白石 アウトリーチ支援事業は、精神障害を持ちながら支援を受けずにいる人などに、福祉職などが訪問して支援する事業です。

栗原 具体的にはどんな人に支援を？

白石 統合失調症、双極性障害、重症うつ病などの患者で、家事ができなくなったり、外出できずひきこもり状態になったり、入院を繰り返したりしている人です。精神科領域のアウトリーチ事業は近年のトピックスになっています。昨年6月の日本精神神経学会学術集会シンポジウムでは、鴻巣病院と当クリニックにおけるアウトリーチ事業の取り組みや課題について報告し、参加者の関心を集めました。

栗原 復職支援も当クリニックの特徴の一つです。

白石 たとえば、うつ病の治療法には薬物療法や精神療法などがあります。薬を使った治療が望ましいと判断した場合は、抗うつ薬を症状に合わせて使います。精神療法では患者さんとの対話を繰り返しながら問題解決の方法を一緒に探します。

栗原 他には？

白石 認知行動療法などを取り入れたリハビリテーションには、薬物療法と同等の効果がありません。当クリニックでは精神科医師のほか、専門教育を受けた看護師、臨床心理士、精神保健福祉士などが患者の復職支援に関わっています。

栗原 精神疾患に対する偏見や差別は重大な問題です。住民への疾患啓発などの取り組みについて教えてください。

白石 毎年10月の全国労働衛生週間では、当院の心理士などが地域の事業所に向きメンタルヘルスの話をしています。また、2022年4月の高校の学習指導要領の改



スムーズに職場復帰するためのリワークプログラム

訂では、保健体育に「精神疾患などの予防と回復」が盛り込まれることになりました。学校に向いて精神疾患に関する授業をしたり、養護教諭にレクチャーしたりする機会も増えると思います。

栗原 日本の精神保健・医療・福祉を取り巻く状況は大きく変わってきていますか。

白石 2004年、国は入院医療中心から地域生活中心へとシフトチェンジしました。

16年には、「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」が、精神疾患の人も地域の一員として安心して自分らしく暮らせる地域づくりを地域包括ケアの目標とする報告書を取りまとめました。精神障害者の生活を支えるためにさまざまな職種が連携して事業に取り組んでいます。

栗原 一方で、精神科を標榜する病院や病床は減少しており、2016年診療報酬改定では一般病床による精神疾患患者の受け入れが強化されました。

白石 かつて総合病院に精神科を新設する動きも見られましたが、むしろ精神科の常勤医師の数は先細りの傾向にあります。そのような病院の精神科病床が減少してきたの

【取材を終えて】

どのような悩みを持つ患者さんが訪れるのか、その背景にある社会の問題は何か。聞きたいことが山ほどある中で、じっくりとこちらの話を聞き、ゆっくりと語りかける白石先生、クリニックでの診療が垣間見えた気がしました。



クリニックのスタッフ。右は聞き手の栗原さん

に対し、高齢化に伴い合併症を持つ精神疾患患者が増加しており、一般病院の先生方の理解を得て、連携して支援していく体制づくりが必要になっています。本県でも精神疾患のある人が利用しやすい地域包括ケアシステムを作っていくことが課題となっています。

栗原 最後に、精神障害者や精神疾患を抱える人に対し、社会はどうあるべきですか？

白石 精神疾患は、身体的な障害が表出することもなく外見からは分かりにくいことから「見えない障害」といわれます。そのため誤解や偏見で見られることもあります。今後は、社会全体の精神疾患に対する意識を変えていくことが大切で、精神疾患を生み出さない穏やかな社会、病気になってもあたりまえの生活が送れる温かい社会づくりが必要です。

今回のインタビュー、新型コロナウイルスの影響がなければ、改めて白石先生のお話を伺うことはなかったのかもしれない。鴻巣病院の職員としての誇りを再認識することができた取材でした。

(栗原順二)

新型コロナウイルスとの 戦いの記録



職員の感染確認から20日後の3月4日、全業務再開となり病院玄関前で「安全宣言」を行なう伊藤院長（当時）。全国からメディアが押し寄せた

〈和歌山〉
有田病院

国内初！医師の感染が判明 その時、有田病院で何が!?

和歌山県済生会 支部長／
有田医療福祉センター 総長
（当時院長）

伊藤秀一

有田病院は国内で初めて新型コロナウイルスで有名な病院と言って過言ではないでしょう。そして、当院が新型コロナウイルスを封じ込めたことで、その対応は「和歌山方式」と呼ばれ、県が積極的に行なったPCR検査が評価されています。PCR検査は重要ですが、患者の陽性率はそれほど高くなく、私は当院を3週間完全閉鎖したことが最大の効果を生んだと考えています。

マスコミの取材は全てお断りしてきましたが、済生会広報室の要請を受け、私のメモの一部を公開します。

2月13日（木）

支部理事会を終え帰宅。19時ころ、「肺炎で他病院に入院し

ていた当院外科医のPCRが陽性だった」と有田病院から電話が入った。直ちに病院に向かい、情報分析・整理をした後、21時から感染症対策会議を開催、その合間に、県健康局担当者とは電話で3回情報交換した。「県が方針を出すので、それに従って行動してほしい」との要請を受け、翌朝6時30分に病院幹部会議を開くことを決め、午前0時ごろ対策会議を終了した。

帰路の車中、塩貝計弥事務部長と、明日からの外来診療と新規入院は原則完全休止と決めた。家でテレビニュースの録画を1時間ほど見た。すでに有田病院の夜景が動画で映っており、仁坂吉伸和歌山県知事は、当院の名前を出して、全患者の感染が否定されるまで病院機能を停止するような発言をしていた。午前2時30分に床に就いたが、なかなか寝付けなかった。

2月14日（金）

午前4時に起床。5時に畠中まさみ事務次長に電話し、今朝の会議に（病院併設）老健ライフケア有田の幹部職員の出席も求めるよう指示した。病院本館2階会議室を感染症対策本部と



全面閉鎖した外来。午後7時の陽性判明後、その日のうちに外来診療と新規入院の原則完全休止を決定

した。県から湯浅保健所を経由して「済生会有田病院」にお願いすること（1）」という12項目のFAXが午前0時55分着で届いていた。

県は「新患は受け入れずに、通常外来業務は可能」との方針

だったが、私はさらに厳しく臨むべきだと思った。経営には打撃だが、患者の出入りは薬の引き渡しなど最小限にとどめ、外来診療も全面停止と提案した。会議のメンバーからは異論なく、基本方針が決まり、済生会本部・和歌山県支部、

県庁、湯浅保健所に当院の感染対策の基本的態度をFAXした。

この日から、県の要請で1月18日～2月13日に当院を受診した患者に対し、「接触者外来」を実施した。無料で感染症相談を行なうもので、初日は約60人が訪れた。1人に長時間かかる例や、PCR検査が受けられると勘違いして遠方から来た初診患者な

どで終日混雑。玄関前には30人ほどの報道陣が集まり、湯浅町は防災スピーカーで感染症の注意を呼びかけていた。

当院の職員や家族に対する風評被害も出てきた。「家族が出勤停止になった」「学校でいじめられるのを恐れ子どもの通学をやめた」などである。

一人で病院と老健を隔々まで巡回。職員に話しかけると動揺は少ないように感じた。20時ごろに帰宅。21時ごろまでにNHK和歌山放送局から携帯電話に3回着信があったり、自宅の電話にも数件のテレビ関係者から取材要求があったが、全てノーコメントで対応した。どこからか（自分の）名簿が流出したのだろう。22時ごろ畠中事務次長から、「別の外科医の検査結果が陽性だった」との報告を受けた。これで院内感染が強く疑われ、感染症のフェーズが上がるなどと思った。

2月15日（土）

5時半起床。体重を測ると2日間で3キロ減っていた。7時過ぎ病院到着。8時30分からの会議に備え、議題と自分なりの構想をまとめた。会議後、医師

全員のPCR検査を実施。多忙な私のために整形外科の小島博嗣医師が順番を譲ってくれた。

薬を受け取りに来た患者が外来ロビーで待っていたので、院外、東館玄関前に「お薬相談コーナー」を設置。マスク・ゴーグル・フェイスシールド・ガウン・手袋・防護服など感染防護キットの緊急納入を県に依頼した。国と県の職員が訪れ、院内の疫学的調査を行なった。掃除のおばさんたちに手指消毒液を配付し、使用法を説明した。

午後、常勤医師の検査結果が「全員陰性」と判明。これで職員が病院に閉じ込められる恐れがなくなったと思った。一方で、入院患者1人が陽性と判明。県内の感染症指定医療機関に搬送し、畠中事務次長が済生会本部に報告。20時ごろ帰路に着いた。

2月16日（日）

8時30分から感染対策会議を開催して「お薬相談コーナー」設置と、県庁に感染防護キットを要請したことを報告した。栄養科からは使い捨て食器の使用が提案された。医学的には不必要との意見があったが、調理師への感染防止を考え採用した。



外科病棟の看護師ほか、感染リスクの高い職員のPCR検査で陰性が判明。これで院内の陽性者はゼロとなったことで、初めて報道機関に情報開示したいと思い、PCR検査の結果、患者・職員を含めて院内には感染者が一人もいないこと、職員のみならず家族にも風評被害が著しいことなどを訴えた文章を用意。文案を炭谷茂理事長・長崎靖彦支部長（当時）、和歌山県庁、湯浅保健所にFAXした。

県からは若干の修正と開示時

間の遅延を求められ、翌日に報道関係者に配付することを決め、帰宅した。

今日は私の誕生日。

2月16日～3月2日は省略

3月3日（火）

全国済生会病院長会を通じて、全国の仲間からN95マスク合計2190枚の寄付をいただいた。当院在庫を合わせると、約3カ月分の使用量が確保できたことになる。提供元の病院には、備蓄に余裕があった感染防護キットを送った。

感染対策委員会に、感染

リスクが高いカラオケ・居酒屋等には立ち入らないよう、全職員に通知することを依頼。塩貝事務部長には小学校休業等対策助成金について調べるよう指示した。14時頃に県知事の要請として、「安全宣言は報道陣の前で大々的に行なうのが良い」と連絡があり即決した。「済生会有田病院安全宣言」の看板は、巨大で立派なもの。明日に備え早めに病院を出て19時過ぎに帰宅した。

3月4日（水）

今日から全業務再開。安全宣言を行なうため、報道陣も大勢来院するだろう。私は6時30分ごろ病院に着き、スピーチ原稿の作成に取りかかった。出来上がったスピーチ原稿は以下のとおり（抜粋）。

当院外科医師の感染が、他の病院で発見されました。連日の報道により、彼が有田地方に新型コロナウイルスを持ち込んだ張本人のような印象があります。が、病院の近くには中国人旅行者がよく利用する施設がありまして、その関係者などから持ち込まれたと考えております。

県の指導により接触者外来を開設、通常の外来・入院業務に加え訪問看護、訪問リハビリも完全に中止しました。利用者の方々には大変なご不便をおかけし、本当に申し訳なく思っております。

私たちは、病院の経営を顧みず、感染防止に最大限の努力を続けてきました。2月の病院収益は1億円近く落ち込みましたが、ここまで徹底的に感染拡大防止策をとった病院はないと思

います。

昨日の3月3日で完全陰性化が丸2週間継続しましたので、「済生会有田病院安全宣言」を発表いたします。本日から全ての病院業務を再開します。職員一同、一丸となって地域の皆様に貢献してまいります。

7時55分、県庁技監（健康局長）とともに報道陣が待つ玄関に向かう。救急入口で2分ほど待機した後、玄関前の取材場所に立った。

数十人のカメラの放列から一斉にフラッシュがたかれる経験は初めてであった。気を付けたことは、「堂々とした態度でいる」「動作や発言はゆっくりする」「ハプニングがあった場合に即興で対応する余裕を持つ」の3点。スピーチは5分くらいで退席し、後は県の職員がフォローしてくれた。

8時20分からの感染対策会議で、放射線領域の医学誌「Radiology」2月28日電子版に掲載された中国・武漢の病院が行なった1000人以上の新型コロナウイルス肺炎患者の検査法の比較を紹介。咽頭拭い液の陽性率が30～60%なのに対し、胸



2月18日に全職員の、また20日には入院患者全員のPCR検査が終了

部CTは97%の診断率で高感度という報告。CT検査の積極活用を求めた。

会議後、廣畑直子地域医療福祉部長（訪問看護師）が「訪問看護に行ける……うれしい！」

と涙を見せた。日ごろ明るい彼女が泣くとは意外である。

NHK、読売テレビ、毎日放送、関西テレビ、朝日放送など各局で「安全宣言」が放送された。テレビに映る患者さんからは「この病院は絶対必要」と温かいコメントが多かった。

この日の夜、非常勤の医師から当院で勤務するのは不安があると電話があった。院内のウイ

ルスは完全にクリアされており、感染の心配は全くないこと、私の心配は院外からのウィルスの持ち込みであることなどを説明して納得してもらった。

また、和歌山県立医大第2内科の教授はじめ、旧知の方々から激励の電話をいただいた。

3月5日以降は省略

PCR検査の迅速・確実な実施で、感染拡大を抑える

PCR
検査

有田病院 院長
(当時院長補佐) 瀧藤 克也

2月13日夕刻、他院に入院している当院外科医師の喀痰PCR検査で新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が検出されたとの報告を受けました。翌未明2時7分には、和歌山県立医科大学へ前日搬送した肺炎患者の陽性も判明。さらに同日に2人目の外科医師が近隣病院に入院してPCR検査を受け、22時に陽性が判明しました。ほぼ24時間以内に、当院から3人の陽性者が出たことになります。

この3人の濃厚接触者および



職員の感染状況を、すぐに調査する必要があります。現時点ではPCR検査が最も有用ですが、インフルエンザのように簡便な検査ではありません。

次に濃厚接触者の選定です。陽性の入院患者は入院時からのベッドマップで同室者をリストアップしました。2人の感染医師は潜伏期間を考慮して発症からさかのぼって接触者をリストアップしました。

貴重な検査キットを有効活用

SARS-CoV-2は気道の奥で増殖し肺炎を起こしやすく、喀痰のPCR検査が最も望ましいというのが当時の情報でした。しかし、全員が喀痰を採取できるわけではないので、咽頭ぬぐい液を採取することに。なるべく有効に採取しないと偽陰性となってしまう。そこで、プラスチック製の柔らかい綿棒を選択し、両側扁桃と、綿棒の先を下咽頭まで挿入して回転させ、十分奥までの検体を採取することに努めました。



救急室では救急当番医が対応し かかりつけ患者の不安に 대응

接触者
外来

有田病院 副院長
(内科) 川口伸也

2月13日付で和歌山県から湯浅保健所を通じて「済生会有田病院にお願いすること」との連絡が当院に届きました。計12項目の要請です。

その中には、①1月18日～2月13日の当院受診患者のうち、発熱、咳、肺炎症状等の症状がある者（軽症を含む）、または

一方で数少ない採取キットを有効に使用しなければなりません。そこで「最も有効な採取時期は発症後5日以内が良いタイミングである」との報告に基づき、濃厚接触者のうち有症状者を優先。次に、濃厚接触したと考えられる時点を基準に対象者を選定して検査を実施、感染状況を確認しました。

最初に濃厚接触者としてリストアップした入院患者の1人が陽性と判明、感染症病床を有する病院へ搬送しました。

翌15日には45検体分の採取キットが提供され、医師15人、外

科病棟の看護職員27人、受付事務員1人、内視鏡室職員2人に検査を施行。その後、症状が出現した入院患者、放射線科職員、手術室スタッフ、事務職員にも検査を行ない、開始から5日目の2月18日に全職員のPCR検査が終了しました。

2月20日には入院患者全員のPCR検査が終了。以後は症状の出現者、濃厚接触職員の再検査など、必要に応じて検査をしました。

そして2月24日、全職員および全入院患者の陰性を確認しました。

不安のある者に対して

接触者外来

を設け対応

すること②

接触者外来

で発熱、咳、

肺炎症状等

の有症状者

は、速やかに湯浅保健

所に連絡す

る——との

指示があり

ました。

早速、翌

14日に接触

者外来を開

設。平日は

9～17時、

土・日・祝

日は9～12

時。院内へ

の立ち入り

は原則禁止、

受診者には駐車場

の車内で待機

してもらいました。

問診票には「当院外来受診歴・

病棟訪問歴」「発熱・咳・咽頭痛・

全身倦怠感・食欲の有無」「そ

の他要望欄」を設定。診察は救

急室を使用し、受診者同士の接



接触者外来待合

触を避けるため事務職員・看護師が誘導しました。担当医師は当日の救急当番の内科医が務め、混雑した場合には別室を用意しました。時間外は当直の医師が対応しました。



2月15日から東館玄関前に開設された「お薬相談コーナー」

**19日間に149人が受診
「頑張って！」の励ましも**

接触者外来は2月14日から「安全宣言」前日の3月3日までの19日間実施。受診者数は初日54人、週明け17日(月)は24人、

その後は徐々に減少し、合計149人が受診しました。大多数は「症状はないものの不安で」と心配して来た人たちでした。職場から「大丈夫か聞きに行け」と言われて来た方も少なからずいました。

接触者外来で症状が見られたために保健所に連絡した人数は合計8人でした。受診時には時間をかけて、恐らくは心配ないことを伝えました。加えて、念のために体調の変化がないかどうか2週間は経過を見てほしい旨を説明、おおむね理解いただ

けた様子でした。

幸いなことにお叱りを受ける例は皆無で、中には「大変ですね。頑張ってくださいね!」と励ましてくださる方もいて、胸が熱くなることもありましたが、地域柄かもしれないですが、普段から当院が地元の皆さんに信頼していただけているからこそではないかと感じました。「安全宣言」を経て通常業務に戻った後も、このことを肝に銘じて、なおいつそう仕事に励まなければならぬと決意を新たにしました。

通院中の慢性患者専用窓口 薬剤師が駐車場まで薬を配達

お薬相談
コーナー

有田病院
薬剤部長 森本浩史

「お薬相談コーナー」は2月15日、東館玄関前に開設し、通院中の慢性患者に限り投薬を行いました。外来閉鎖中の処方箋枚数は、通常の40〜70%くらいで推移しました。

当時はまだ寒い日が続く、防寒と患者同士の接触防止のため、自家用車内で待機してもらい、調剤を終えると私たちが患者さ



んの元まで運び、服薬を指導しました。薬の配達前後には手洗い・手指消毒を徹底しました。

今回は駐車場までの配達業務に加え、多くの患者さんから電話問い合わせも重なり、調剤から交付までにいつも以上に時間を要しました。問い合わせが多かったのは、「残っている薬が少ない(または残薬がない)」「来院したくない」「自宅に配達してほしい」「電話のみで処方してほしい」など。ほかにも、「普段からバスやタクシーで通院しているが、いまは病院近くに入り入れてもらえないから、家の近くまで来てほしい」といった要望もありました。

さらに混乱に乗じて、患者さんやご家族のなりすまし、製薬企業のなりすましなどの迷惑電話も多数あり、その対応にも追われました。

また、薬剤部では、元々品薄だったアルコール系消毒剤は、最初の感染者が判明した2月13日の夜に、医薬品卸の担当者との交渉。翌早朝も継続して消毒剤の確保に当たり、製薬企業など出入り業者に訪問規制等の連絡を行ないました。

アルコール清拭などを徹底、 委託業者への感染防止研修も

看護部の
取り組み

看護部は院内の感染防止対策と、入院患者および職員の状態観察を徹底して行ないました。



感染対策会議

感染者が出

た外科病棟では、看護職員と介護職員が、全ての場所や物品のアルコール清拭を毎日実施。病室のカーテンの洗浄も行ないました。病棟・外来・管理部門では、手すりやドアノブなどを中心に最低でも1日に3回、各部門で協力しながら、次亜塩素酸もしくはアルコールで清拭しました。マスク着用・手指消毒はもちろんのこと、

有田病院
看護部長

小原喜代子



特にPCR検査時の感染防御は徹底して行ないました。

入院の面会を全面禁止とし、

患者さんへの洗濯物等の受け渡しは、受付の事務職員から連絡を受けた病棟の看護・介護職員が病院玄関に向き、ご家族から受け取りました。

病室などの清掃は外部委託をしているため、感染対策チームの看護副部長が、新型コロナウイルスの知識と感染防止について、清掃業者に講義。当初は「委託業者が引き上げてしまうのではないか」といった心配もありましたが、感染防止対策の研修を早期に実施したこともあり、これまで通り、清掃業務を続けてもらうことができました。

発熱情報は1日2回集約

有熱患者さんで、特に原疾患と関連のない発熱に対しては症状観察を頻回に行ない、1日2回、看護部長室で情報を集約しました。その上で県の医務課や保健所とも連携をとりながら、必要に応じてPCR検査を実施。検査結果が出るまでは個室で観察しました。その病室の清掃は委託業者ではなく、看護職員や介護職員で行ないました。

看護職員の濃厚接触者は2週間の自宅待機、その他の職員全員も出勤前に熱を測り、37・0℃以上の発熱や呼吸器症状がある場合には自宅待機としました。

〈東京〉
中央病院
附属乳児院

100年前と同じように、
幼い命を全力で守る！

中央病院の敷地内にある附属

乳児院で、職員1人が新型コロナウイルスに感染していることが4月16日に判明しました。18日には施設に入所する乳幼児29人全員にPCR検査を実施、陽性が判明した乳幼児8人を中央

〈東京〉中央病院 済生記者

佐藤弘恵

病院に入院させました。

当該施設は中央病院とは別棟のため、施設内を徹底的に消毒。厳重な感染対策





のもと、陰性だった乳幼児は、健康観察をしながら施設内で養育を続けることになりました。入院した子どもたちの世話は中央病院が当たりますが、一方で、乳児院職員の多くが濃厚接

触者で自宅待機になってしまいました。乳児院の養育は24時間365日です。4月23日、中央病院は乳幼児の命を守るため看護師の派遣を決定。日夜交代で養育に当たりました。その派遣

職員を確保するために、救急外来の一時停止と入院病床を削減して対処しました。

また、横浜市東部病院を通じて院外から看護師・保育士を臨時職員として確保しました。

その後、乳児院の看護師・保育士等の自宅待機は5月7日に解除。11日から乳児院は通常の養育体制に戻り、当院も段階的に救急の受け入れを再開しました。

1923年の関東大震災、中央病院（当時は芝病院）は、応急診療施設を設置して、被害を受けた妊産婦と乳幼児を救護し、命を守りました。それからほぼ100年。未知のウイルスによる脅威に対し、私たちは、先人たちと同じように、助けを必要としている幼い命を守りぬくことができました。

今度は、100年後に当院で働いている職員のために、私たちが「教訓と誇り」を残していくと思いました。

小寺乳児院長コメント

中央病院附属乳児院・小寺政明院長は次のようなコメントを

寄せました。

「入所する乳幼児の養育を担当する者がいないという緊急事態に、中央病院は、救急外来の停止など、診療を縮小して乳児院の養育体制維持の措置を取っていただきました。この支援体制が構築されなかったならば、乳児院の子どもたちの養育を継続することは困難であったと考えられます。」



看護部職員を中心とした協力と、感染制御センター及び小児科医師の指導等を受け、子どもたちの『命の安全』を守ることができました。中央病院をはじめご心配いただいた済生会の多くの皆さまに改めて深く感謝いたします」

総裁・秋篠宮皇嗣殿下ご一家から 手づくりガウン

手書きの応援メッセージに職員感激



5月15日に届けられた中央病院用のガウンとメッセージ

新型コロナウイルス感染症と戦う病院で役立ててと、秋篠宮皇嗣殿下ご一家5方と宮内庁の職員が手づくりされた医療用ガウンを済生会病院に賜りました。市販のビニール袋を加工したもので、5月15日には〈東京〉中央病院に100着、22日には済生会本部事務局に200着、さらに29日にも200着が届けられました。中には、医療従事者

への応援と感謝の言葉がつづられた手書きのメッセージが添えられていました。

ご一家のガウンづくりは5月11日、総裁に同院をはじめとする済生会病院の新型コロナウイルスへの対応をご説明するテレビ会議がきっかけでした。皇嗣同妃両殿下が、医療現場で防護服が不足し中央病院では職員がごみ袋を加工してしのいでいるとの説明にご憂慮されるとともに、作り

方にもご興味を示されました。この

ため翌日、同院の樋口幸子看護部長が「設計図」をメールでお送りしました。

幹部職員は両殿下がご参考程度に作り方をお知りになりたいのだろうと思っていたところ、3日後の15日夕、突然、宮内庁の職員が段ボールに入った100着ものガウンをお届けくださいました。宮様ご一家と職員の方々が、ビ



11日にテレビ会議で行なわれたご進講が、きっかけに



中央病院が送った設計図を基にお作りいただいたガウン。左胸には応援のスマイルマーク



15日に届いたメッセージの一部



22日に届いたメッセージの一部

ニール袋を切り、両そでを養生テープで貼るなど手づくりされたものとのことでした。

他施設向けの400着も

同院の職員が他の済生会病院にも配ったほうがいいのではと

思案していたところ、今度は1週間後の22日と29日、「必要とされる病院に」と本部事務局に計4箱400着をお届けくださいました。

それぞれの箱には、宮様方と各職員手書きのメッセージが同

梱されており、役職員一同、3度のサプライズ以上に感激しました。

「心から感謝申し上げます」感謝するリスクがある中、闘ってくださり感謝しありません」

「くれぐれもお身体をおたいせ



宮内庁職員(向かって左2人)から本部に届けられたガウンとメッセージ

つに」「皆様の頑張りによって救われております」「1人でも多くの患者さんが救われますよう、心から応援しています！」

これらお言葉の数々と一所懸命作られたガウンに、ともすれば感染への恐怖と風評被害でくじけそうになる職員の心に、また勇気が湧いてきました。

(中央病院済生記者 佐藤弘恵
本部広報室 河内淳史)

治療薬と ワクチンの現状

開発も国民全体で 取り組みを

中国武漢市で発生した新型コ

ロナウイルス感染症は、今年1月15日に日本国内で初めて確認されてから約4カ月経過する中、感染状況・対策が日々、変遷している。無症候の感染者が多数存在することが特徴の一つであり、無症候感染者の把握と隔離が医療体制を守る手段である。その上で急速に重症化する患者の見極めと迅速な治療が要である。今後は治療薬の開発、集団免疫獲得のためのワクチン開発が重要なカギとなる。

感染者の初期症状、重症化する母集団の把握、悪化の経過、病態の解明が日々進む中、厚生労働省は5月19日、新型コロナウイルスに対する診療の手引き第2版を公表した。重症化に関連があるとされる「血栓」への対応や新たに承認された治療薬など、最新治療のポイントをまとめた。5月23日時点の情報で、承認されている医薬品、治療薬候補とされる医薬品、ワクチン

本部特別参与（薬務担当）

植松 和子



の概要を紹介する。

【治療薬】

ベクルリー（レムデシビル）

米国ギリアドサイエンス社でエボラ出血熱治療薬として開発されていたが、今回新型コロナウイルス感染症（SARS-CoV-2感染症）に対する国際

多施設共同試験が実施され、日本では条件付きで特例承認された。ウイルスのRNAポリメラーゼを阻害することでウイルスの増殖を抑える。現在、国内では限られた症例への使用となっている。

アビガン（ファビピラビル）

ウイルスのRNAポリメラーゼを選択的に阻害し、ウイルスの増殖を抑える薬として、日本（富士フイルム・富山化学）で開発され、新型インフルエンザ用薬として承認されている。動物実験で催奇形性が認められており、使用に際しては十分注意が必要である。実験レベルでは新型コロナウイルスの抑制効果が報告されている。国内医療機関による多施設共同研究、企業試験が継続されており、実臨床での使用経験も踏まえて今後の感染拡大時に備えて承認されることが望まれる。

カレトラ

（ロピナビル／リトナビル）

ロピナビルとリトナビルが配

合された抗HIV薬である。ロピナビルはHIVプロテアーゼの活性を阻害することで抗ウイルス活性を発揮し、リトナビルはロピナビルの代謝を阻害し、血中濃度の上昇をもたらす。中国で重症患者199人を対象としたロピナビル／リトナビルと無投薬のランダム化試験で臨床的改善率、28日死亡率いずれも有意差が見られなかったとの報告がある。

ブラケンル （ヒドロキシクロロキン）

抗マラリア薬として有名な薬であるが、日本では皮膚・全身性エリテマトーデス治療薬として承認されている。抗炎症作用、免疫調節作用、抗マラリア作用等多岐にわたる作用を有する薬剤であり、様々な国で新型コロナウイルス感染症に対する医師主導研究が行なわれている。しかしながらQT間隔延長、トルサード・ド・ポワント、失神、心停止、突然死等の症例が報告されていることから、適応外使用に際しては十分な配慮が必要だ。（2020年4月28日・サノフィ株式会社）

表1 新型コロナウイルス治療薬

(候補薬等2020年5月23日現在)

分類	医薬品名・剤形・用量 (製薬企業)	一般名	新型コロナウイルスに対する用法・用量 (日本感染症学会薬物治療の考え方第2版参照) 副作用等 *ベクルリーは承認用量	画像
抗ウイルス薬	ベクルリー 点滴静注液 100mg (ギリアド・サイエンシズ) 国内承認済	レムデシビル Remdesivir	特例承認の用法用量:成人及び体重40kg以上の小児には投与初日に200mgを、投与2日目を以降は100mgを1日1回点滴静注する。体重3.5kg以上40kg未満の小児には投与初日に5mg/kgを、投与2日目を以降は2.5mg/kgを1日1回点滴静注する。 総投与期間は10日までとする。重大な副作用:急性腎障害、肝機能障害、Infusion Reaction 医薬品リスク管理計画(RMP)参照	
	アビガン錠 200mg (富士フイルム・富山化学) 国内治験中	ファビピラビル Favipiravir	1日目 3600mg (9錠×2)、2日目を以降1600mg (4錠×2)計10日 最長14日。動物試験で催奇形性あり。医薬品リスク管理計画(RMP)参照。重大な副作用:肺炎、劇症肝炎、肝機能障害、急性腎障害、白血球減少、血小板減少 など	
	カレトラ配合剤 (アッヴィ合同会社) 治療薬候補	ロピナビル/リトナビル Lopinavir Ritonavir	400mg/100mg経口12時間おき10日程度 重大な副作用:高血糖、糖尿病、肺炎、出血傾向、肝機能障害、徐脈性不整脈など	
免疫調節薬	プラケニル錠 200mg (サノフィ株式会社) 治療薬候補	ヒドロキシクロロキン Hydroxychloroquine Sulfate	200mg1日2回、または400mg1日1回14日間 重大な副作用:網膜症、黄斑症、黄斑変性、骨髄抑制 心筋症 低血糖など	
抗寄生虫薬	ストロメクトール錠 3mg (MSD株式会社) 治療薬候補	イベルメクチン Ivermectin	重大な副作用:血小板減少、肝機能障害、黄疸など	
ウイルスの細胞内侵入阻止	フォイバン錠 100mg (小野薬品工業) 治療薬候補	カモスタット Camostat Mesilate	重大な副作用:血小板減少、肝機能障害、黄疸、高カリウム血症など	
	フサン注射用10mg・注射用50mg (日医工) 国内臨床研究中 東大医科研	ナファモスタット Nafamostat Mesilate	重大な副作用:高カリウム血症、低ナトリウム血症、血小板減少、白血球減少、肝機能障害、黄疸など	
抗炎症薬(ステロイド吸入薬)	オルベスコ 200μg インヘラー 56吸入用 (帝人ファーマ) 治療薬候補	シクレソニド Ciclesonide	1,200μg (400μgTIDを) 最長14日間 主な副作用:発疹、そう痒、咽喉頭症状、嘔声、口渴、口腔カンジダ症、味覚異常など	
サイトカイン抑制	アクテムラ点滴静注用 80mg、200mg、400mg (中外製薬) 治療薬候補	トシリズマブ(遺伝子組換え) Tocilizumab (Genetical Recombination)	適切な投与量は不明 中国の報告では400mg単回投与。重大な副作用:感染症、間質性肺炎、腸管穿孔、無顆粒球症、心不全、肝機能障害など。医薬品リスク管理計画(RMP)参照	
高免疫グロブリン製剤	TAK-888 (武田薬品工業)	SARS-CoV-2感染患者血漿から採取した抗体	国内開発中 年内の国内申請目指す	

ストロメクトール (イベルメクチン)

2015年大村智博士がノーベル医学生理学賞を受賞した寄生虫感染症治療薬であり、開発途上国で多くの患者を救っている。作用機序は完全には解明されていないが、無脊椎動物の神経・筋細胞に高い親和性を持つて結合し、細胞膜の透過性を上昇させ麻痺を発現させると考えられている。豪州モナッシュ大学とピーター・ドハーティー感染症免疫研究所のチームは、アフリカミドリザルの細胞を、新型コロナウイルスに2時間さらして感染させた後、イベルメクチンを投与した結果、1回の投与で48時間以内にウイルスのRNAが99・98%減少したとの試験管内での実験結果を報告しており、今後早急に治験を実施するとしている。

フオイパン(カモスタット)・ フサン(ナファモスタット)

フオイパン錠、フサン注射剤は、両剤ともタンパク分解酵素阻害薬として急性膵炎、DIC等の治療薬としてこれまで多くの患者に使用されている。3月初めにドイツのグループから新

型コロナウイルス感染症に対するフオイパンの有効性が発表され、感染初期のウイルスの侵入過程を阻止すると報告された。また、東京大学医科学研究所は、類薬であるフサンについて、実験レベルでフオイパンの10分の1以下の濃度でウイルス侵入過程を阻止したと発表した。

オルベスコ(シクレソニド)

国立感染症研究所より、新型コロナウイルス感染症に対して様々な喘息吸入薬の効果を検証した結果、オルベスコが特異的な抗ウイルス作用をもつことが報告された。オルベスコは古くから使われている喘息治療のステロイド吸入薬であり、気道の炎症を抑えるはたらきがある。韓国で軽症患者対象の臨床研究が実施されている。国内では治療薬の一つとして実臨床で使用された症例が報告されている。

アクテムラ (トシリズマブ遺伝子組換え)

新型コロナウイルス感染者の80%の患者は軽症か無症状である。一方、20%は重症化し、数%の患者で肺炎の重症化で死亡に至ることがある。重症肺炎、

呼吸窮迫症候群は体内の免疫システムの暴走(サイトカインストーム)が原因と考えられている。ウイルスを攻撃する抗体を作るサイトカインの一種、インターロイキン(IL)6の過剰反応により自己細胞が攻撃され、肺炎の重症化が進行するとされる。アクテムラはヒト化ヒトIL-6受容体モノクローナル抗体で、IL-6の発現を抑制する作用をもつ。主に関節リウマチの治療に使用されており、免疫機能を抑制することから医薬品リスク管理計画には感染症への注意が喚起されている。中国ではサイトカインストームに対して改善を示すとして、治療指針に推奨医薬品として盛り込んでおり、スイス・ロシュグループでは新型コロナウイルス感染症を対象とした治験が立ち上がっている。中外製薬は国内第3相臨床試験を5月に開始し、今年中の承認申請を目指すとしている。抗IL-6抗体薬、JAK阻害薬など、この他の関節リウマチ治療薬も候補となっている。

高免疫グロブリン製 (TAK-888)

新型コロナウイルス感染症の

回復患者から採取した血漿の病原体特異的な抗体を濃縮した血漿分画製剤である。抗体を患者に投与することで、患者が抗体を獲得し、ウイルスに対する免疫活性が高まると考えられる。武田薬品は年内の国内申請を目指し、日本や欧米、アジアのグローバルで開発を進め、今夏には臨床試験を開始する予定としている(薬事日報5月19日)。

「ワクチン」

WHO(世界保健機関)によると、新型コロナウイルスワクチンの開発は各国で多数着手されており、そのうち数種類で臨床試験(治験)が始まっているとしている。ワクチンの治験は少人数で安全性を確認する第1相試験、数百人を対象として安全性、有効性を確認する第2相試験、数千人を対象として安全性、有効性を確認する第3相試験が実施される。さらに多数の人が接種した場合に起こる可能性のある副反応を慎重に検証する必要性があり、実用化までには時間を要すると考えられる。

表2 開発中の主な新型コロナウイルス予防ワクチン

(開発状況は日々更新されるため最新情報を要確認 2020年5月23日)

国内外	開発企業・研究施設等 (治験状況)	種類(ワクチン名)	開発状況
海外	モデルナ社 (米国治験中)	m-RNAワクチン (m-RNA-1273)	米国国立アレルギー・感染症研究所とバイオベンチャー企業モデルナ社との協力で開発中。 45人を対象とした第1相試験で全員に抗体が確認され、そのうち8人に中和抗体が確認されたと報告されている。今後早期実用化を目指し手続きを短縮して安全性、有効性について数千人を対象とした治験を7月にも開始するとしている。 日経バイオテク2020年5月19日
海外	中国カンシノ・バイオジクス / 北京バイオテクノロジー研究所 (中国治験中)	ウイルスベクターワクチン	第2相試験を中国で実施中 製薬業界ニュース解説メディア AnswersNews 2020年5月22日UpDate
海外	北京生物製品研究所 / 武漢生物製品研究所 (中国治験中)	ウイルス不活化ワクチン	第2相試験を中国で実施中 製薬業界ニュース解説メディア AnswersNews 2020年5月22日UpDate
海外	英国オックスフォード大学 / アストラゼネカ (英国治験中)	ウイルスベクターワクチン (ChAdOx1 nCoV-19)	アストラゼネカはオックスフォード大学と開発を進めており、ワクチンの供給を9月から開始すると発表した。ただしワクチンに効果がみられない可能性もあるとしている。 ロンドン共同2020年5月21日
海外	米国イノビオファーマ シューティカルズ (米国治験中)	DNAワクチン (INO-4800)	マウスやモルモットを使った実験で抗体や免疫反応が確認されたことを明らかにした。 すでにヒトを対象としたワクチンの治験を4月に開始しており、6月には暫定結果が出揃う見込み。 ロイター2020年5月20日
海外	独逸ビオンテック社 / 米国ファイザー (欧米治験中)	m-RNAワクチン (BNT-162)	ファイザーとBioNTechの開発プログラムには4種類のワクチン候補が含まれ、それぞれ異なるmRNA構造と標的抗原の組み合わせを有している。本試験のデザインにより、複数のmRNAワクチン候補を同時に評価し、より多くの被験者において最も安全で有効性が高い可能性のあるワクチン候補を特定することが可能であるとしている。 ファイザー-HP2020年5月7日 第1相/第2相試験を欧米で実施中
国内	アンジェス / 大阪大学 (国内治験予定)	DNAワクチン	タカラバイオは新型コロナウイルスのワクチンの量産体制を構築する。バイオ企業のアンジェスや大阪大学などと共同でワクチンを開発中で今夏に臨床試験(治験)を始める。今秋に厚生労働省から製造販売の承認を得た場合、年内だけで20万人分のワクチンを供給できるとしている。 日本経済新聞 電子版2020年4月20日
国内	田辺三菱製薬 / 子会社カナダメディカゴ (国内治験予定)	植物由来VLPワクチン	メディカゴ社は植物由来のウイルス様粒子(VLP:Virus-Like Particles)ワクチンの非臨床試験の中間結果で良好な結果を得たと発表した。安全性と有効性に関する非臨床試験を実施した上で、本年8月までにヒトでの臨床試験を開始するため、当局との協議を進める。順調に進んだ場合、臨床試験は来年11月に終了する予定。 医薬通信社2020年5月18日
国内	塩野義製薬 / 子会社 UMN ファーマ (国内治験予定)	タンパク抗原ワクチン	UMNファーマが持つたんぱく発現技術により組み替えタンパク抗原を使ったワクチン作製を進めている。 塩野義製薬は4月27日、新型コロナウイルス感染症向けワクチンの開発を発表した。子会社UMNファーマが3月から参加している日本医療研究開発機構(AMED)プロジェクトの内容を踏まえ、年内の臨床試験開始を目指すとしている。 化学工業日報 2020年05月20日

ワクチンの種類には、従来から

使用されている不活化ワクチン、弱毒生ワクチン、サブユニットワクチン、ベクターワクチンといった、免疫源となるウイルスタンパク質を接種して免疫を誘導するものと、核酸による自然免疫制御の研究を基に開発が進む核酸ワクチン（遺伝子ワクチン）であるDNAワクチン、RNAワクチンなどがある。

核酸ワクチンは、従来型のワクチンとは異なり、ウイルスタンパク遺伝子を投与することにより、免疫源のタンパク質を体内の細胞で産生させるという機序である。ウイルスや細菌を使用しないため、感染リスクがなく安全性が高いとされている。

DNAワクチンは対象とする病原体のたんぱく質をコードする環状DNA（プラスミドDNA）

A）を接種することで、病原体

たんぱく質を体内で産生し、病原体に対する免疫が獲得される。メリットは大量生産が可能、安価で安定していることである。デメリットは発現効率が低く、アジュバントなどの工夫を要することがあげられる。

RNAワクチンはメッセンジャーRNA（mRNA）を体内に直接投与して、mRNAによってコードされたタンパク質が細胞で発現することによって免疫が得られる。DNAワクチンより発現効率がいため、抗体が早くできる可能性がある。

デメリットは非常に不安定で、遺伝子発現のための補助が必要コストが高く、生産能力が低いことがあげられる。

植物VLP（Virus-like Particle）：ウイルス様粒子）ワクチ

ンは、ウイルスと同様の外部構造を持ち、接種することにより、

当該ウイルスに対する免疫獲得効果が期待できるとされている。ウイルス遺伝子を含まないことから感染リスクがない。メデイカゴは、新規ワクチンなどの研究開発に特化したバイオ医薬品企業であり、植物を用いてVLPワクチンを製造する技術があり、一過性の遺伝子発現技術によって、非遺伝子組み換え植物（ベンサミアナタバコ・タバコ属の植物）の細胞内にVLPを生成する独自技術を有している。

開発中の主なワクチンについて表2に示す。

コロナウイルスと共存世界へ

今回取り上げた治療薬候補については、新型コロナウイルス

感染症に対しては適応外使用となることから、患者または家族への説明と同意取得が必須であり、副作用への十分な配慮が求められる。今後、臨床研究や治療結果が公表され、科学的根拠が確立することで、治療薬、ワクチンなど感染制御の手段が拡充され、人類が新型コロナウイルス感染症と共存できる世界となることが期待される。そのためにもワクチンは開発途上国を含め全世界の子どもから高齢者までが接種できるよう国際協調をもつて進めることが望まれる。また、国内においては国民全体でワクチン接種に取り組みなければならぬことを広く周知、啓発することが重要である。

医療と福祉二つの視点をもつ済生会には大きな役割があると考えられる。

企業からの寄贈続々

医療・介護従事者向けに たくさんのご厚意が届く

利用客の減少、原材料の調達滞りや販売店の営業自粛など、

一般事業者の皆様も同じように苦勞しています。そのような中、

医療関係者の苦勞をねぎらう皆様の温かいご厚意に感謝申し上げます。（済生会本部）

三井住友銀行から

感染防護対策キット

済生会本部は5月20日、「新

型コロナウイルスに立ち向かう医療従事者に役立ててほしい」と、三井住友銀行から、感染防護対策キット10000セットの寄付を受けました。

キットの内容は、高密度ポリエチレン素材の防護服・N95マスク・粉じん防護用ゴーグル・



手袋（薄手と厚手の2種類）、シューズカバーの6点です。寄付物品は、国への定期報告で、医療資材が不足していると回答した、新潟病院、〈石川〉金沢病院、静岡済生会総合病院、京都府病院〈奈良〉中和病院、〈福岡〉飯塚嘉穂病院に送られました。

（総務課 住田紘二）

デルタ航空からジュース

米国デルタ航空からオレンジジュースを寄贈していただきました。スジャータ社製の果汁100%で、1リットル紙パック6本入りを111箱。

新型コロナウイルス感染症の影響による減便で、機内で使用しなくなった飲料です。

炭谷茂理事長が名誉顧問を務めるNPO法人環境カウンセラー全国連合会の藤本晴男専務理事を通じて、最前線でウイルスと戦う医療従事者に英気を養ってほしいと贈られました。寄贈者の意向をくみ、東京の中央と向島、神奈川の横浜市南部と東部、岡山済生会総合の5病院に配付させていただきました。

（総務課 出堀道子）



製菓株式会社様から「inゼリー」詰め合わせ（エネルギー・マルチビタミン・プロテイン）36個入り、1000セットいただきました。同社の意向により、新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れた病院に送りま



森永製菓株式会社HPより

企業からの寄付続々
森永・栄養ゼリー、
花王・薬用入浴剤
済生会本部は5月19日、森永



花王株式会社HPより

花王株式会社からは、薬用入浴剤やホットアイマスクなど4品の詰め合わせを、全病院（各病院最大100人分）にいただきました。

（事業推進課長 平井 滋）



岡山済生会
看護
専門学校

授業計画が大幅に変更 遠隔授業を初めて導入

全国7校の済生会看護学校でも、各地域の状況に応じて大きな影響を受けています。毎年夏に開く「済生会看護学生研究会」や東西に分かれて行なわれる「災害救護訓練」が中止になりました。

当校では入学式はできたのですが、例年に比べて規模を大幅に縮小しました。緊急事態宣言が全国に拡大される前の4月13日に会場をライフケアセンターのホールから当校の大教室に移して挙行。参加したのは新入生89人と役員19人のみ。在校生、ご家族もおらず、時間も約30分に短縮しました。

1年生はオリエンテーション等を終えると、21日から5月6日までを自宅学習としました。

その後、「遠隔授業」を導入。初めての試みでしたが、当校の母体・岡山済生会総合病院の職員の全面協力で実施にこぎつけました。オンラインで学校にいる講師と自宅や寮にいる学生を結び、双方向でコミュニケーションが取れる授業ができました。

学生からは「普段、後ろの席だと先生の字やパワーポイントの画面が見えにくいことがあったが、遠隔授業では画面をハッキリ見ることができた」。教員は、「思ったより反応が良く、質問やアンケートもスムーズに進められた。ただ、対面での授業の方がより学生の表情や反応を確認することができるので、早く通常に戻したい」と話していました。

さらに困っているのは臨地実習です。2年生は5月に戴帽式

を終えると、6月1日から病院で3週間の「基礎看護学実習Ⅱ」を受ける予定だったのですが、夏に延期です。5週間ある夏休みを5月に前倒しして3週間取得。夏は2週間に減らして、その代わりに実習を入れることにしています。

また、年明けに行なわれる予定の国家試験については何も発表されていませんが、3年生は既定のカリキュラムをこなせるか大いに気になるところです。実習を中心に計画どおりにはできていませんが、実習先が済生会の病院・施設なので何とか柔軟に対応してもらい、こちらも計画を随時、細かく見直しながら学生への影響を最小限にするよう進めていきたいと思っています。

※コロナの記録・36頁につづく
(副係長 宮崎真希)

#あなた
の間

新型コロナウイルス感染拡大にともなう割の大きさに反し、こころないひとこころは医療従事者を「ヒーロー」と呼び、ひとりの「人」であることを忘れてはくはたら...と企画しました。お家社



#頑張っているあの人へ

6A病棟 永田看護師長さん。外科病棟から突然の特殊な感染病棟への異動、大変だと思います。しっかり個人防護して頑張ってください！

#新型コロナが落ち着いたら

新人歓迎会をしてあげたい。呑

#頑張っているあの人へ

感染管理岡本さんありがとうございます。まだお子さんも小さいのに、毎日遅くまでお仕事をされています。休日返上で対応いただく専多々あります。本当に、現状当院が耐えしのいられるのは岡本さんのおかげです。今後も引き続きのご指導、アドバイスをお願いいたします。私自身も微力ですが、地域住民、病院のに頑張っていきたいです！

#新型コロナが落ち着いたら

早くコロナがおさまってみんなでご飯を食べに行きたい！

#新型コロナが落ち着いたら

大切な人と旅行に行きたい



#新型コロナが落ち着いたら

動物園と水族館に子と

は で し こ ナース の ス ト ー リ ー

#107

いつも笑顔で

入職してから半年、毎日が忙しく過ぎていく中で、思うように患者さんと接することができず、「本当に自分は看護ができているのだろうか……」と不安に思っていた。それでも、どんなに忙しくても、疲れていても絶対に笑顔でいるように心掛けてきた。

肺炎で入院してきたAさんには認知症もあった。肺炎が回復していくにつれて、頻繁に「もう帰りたい」と訴えてきた。

ある日、「自宅に帰りたい」と廊下を歩いているAさんを見つけた。しかし、どうしたらいいのか……。背中をさすったり、話を聴いたり。すると、Aさんは、私の顔を見て「あんだ、いつも笑顔の子だね、その笑顔を見ていたらこっちも元気になるよ、ありがとう」と険しかった表情が穏やかになり、病室に戻って行った。

患者さんは看護師のことをよく見てい

る。でも、それ以上にいつも笑顔でいようと心掛けていたことが患者さんに届いていたことが、うれしかった。

看護師の表情や声掛けなど、何気なく行なっていることには、一つひとつに意味があり、患者さんに伝わっている。

まだまだ新米看護師。入院生活の中でも安らぎを届け、話し相手となり、何よりも頼りにされる看護師を目指していきたい。

(石川・病院)

写真と筆者は異なります



https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/

済生会の看護力が地域をつくる

看護職にフォーカス—— Nursing nowキャンペーン展開中

2020年はナイチンゲールが誕生して200年。世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、看護職が持つ可能性をさらに広げる世界的キャンペーンを繰り広げています。済生会の看護職も、地域をさらに健康にするため、医療機関の枠を越え福祉を支える活動へと踏み出しています。



Vol. 121

今も変わらぬ可愛らしさと飾らない人柄が愛され、

ドラマ、映画になくはない存在として活躍する浅田美代子さん。

最新映画から、親友であり母のような存在だったという女優・樹木希林さんとのエピソード、

「命の大切さ」への想いまで、お話を伺いました。

Miyoko Asada

浅田美代子

希林さんなら何て言うかな?と、 演じているときいつも思います

Text: みやじまなおみ

Photos: 安友康博

Hair & Make-up: 新井克英 (e.a.t...)



あさだ・みよこ 1956年生まれ、東京都出身。73年、テレビドラマ「時間ですよ」の新人オーディション約25,000人の中から選ばれ芸能界入り。デビュー曲（同ドラマ挿入歌）「赤い風船」で第15回日本レコード大賞新人賞を受賞。映画『あした輝く』（74）で初主演。『釣りバカ日誌』シリーズ（94～2009）では15年間、主役の妻を演じ好評を博す。『エリカ38』（19）で45年ぶりに映画主演。樹木希林さんが浅田さんのために企画し自身も出演、遺作となったことでも知られる。

日本が世界に誇る名匠・河瀬直美監督の最新作に出演した。実の子を育てなかった夫婦と、実の子を育てられなかった母親。養子縁組をあっせんし、両者をつなぐ重要な役だ。「河瀬組は正直怖い。監督は『役を積む』と言うのですが、カメラが回っていないでもその人でないとい

いけないので、長い緊張を強いられます。でも、この緊張こそが大事で、慣れた芝居をしてはいけなくて、身が引き締まるんです。監督からオファーをいただき、二つ返事で承諾しました」
実は、河瀬組は二度目。樹木希林さん主演の『あん』に出演した際は、希林さんが監督に引

き合わせてくれたという。「監督は同じ俳優をほとんど使いません。今回、声をかけていただいたのは、希林さんが天国から『河瀬さん、美代ちゃんがいるよ』と言ってくれたのかも（笑）。生前、希林さんは私のために自ら企画して、映画『エリカ38』の主役をくださった恩人でもあります。役者としてまだ何のご恩返しもできていないけど、悩んでいるときは、希林さんなら何て言うかな?と、いつも思いますね」

プライベートでは4匹の保護犬と暮らし、ボランティアで動物愛護活動も行なっている。悪徳繁殖業者や衛生状態の悪い多頭飼いの現場に赴き、レスキューを行なったり、里親を探したり。「命をつないで幸せになっ

てほしいという願いは、人間だろうが動物だろうが同じ。今は（新型コロナウイルスで）医療現場は本当に大変だと思います。みなさんの命がけの奮闘に、心から感謝を捧げます」



映画『朝が来る』

一度は子どもを持つことを諦めた栗原夫婦は「特別養子縁組」という制度を知り、男の子を迎え入れる。それから6年、家族は幸せな日々を送っていた。ところが突然、息子の生みの親を名乗る女性から、「子どもを返してほしいんです。それが駄目ならお金をください」と電話がかかってくる。いったい彼女は何者なのか、何が目的なのか……?

■監督・脚本・撮影：河瀬直美

■原作：辻村深月『朝が来る』（文春文庫） ■共同脚本：高橋泉

■出演：永作博美、井浦新、蒔田彩珠、浅田美代子 ほか

近日公開予定

©2020『朝が来る』Film Partners



口福につぼん

吉井省一

んだ「白えびおぼろ昆布締め」。富山の方言では新鮮さを「きときと」と表しますが、そんな形容詞がぴったりに合う海の逸品です。

「富山湾の宝石」を おぼろ昆布でサンド

寒流と暖流が混ざり合う富山湾は、北アルプスの霊峰立山から

栄養豊富

な川の水

も流れ込

み、たく

さんの種

類の魚が棲みつく『天然のいけす』と呼ばれています。最も深い所は水深1200メートル以上もあり、海底には深い谷が山脈のように刻まれている複雑な地形をしています。

今回の主役である白えびは、沿岸から急に深くなっている海の青さが一段と濃く、藍を入れた瓶のように見える「あいがめ」と呼ばれる場所に生息しています。水深はだいたい300メートルの辺り。4月から11月にかけて獲れる白えび

33 白えびおぼろ昆布締め 《奥田屋》

富山県
富山市



済生会の「病院・施設」がある
県内の市町村

よしい・せいいち コピーライター・作詞家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年にわたって執筆に携わり、全国各地を取材。試食した食品の数は1万点を超える。

突

然ですが、皆さんは「おぼろ昆布」と「とろろ昆布」の違いをご存じですか。どちらもふわっとしていて薄くて儚げなイメージですが、あきらかに違いがあります。「おぼろ昆布」は一枚の昆布の平らな面を職人が手で一枚一枚めくるように削ったもの。「とろろ昆布」は何枚もの昆布を重ねて圧縮してから側面を機械で薄くスライスしたものです。

そんな知れば知るほど奥深い昆布の消費量が全国でトップクラスなのが富山市。江戸時代に北前船の中継地として北海道から昆布が持ち込まれて食文化に定着したのがその理由のようです。それにしても過去に53年連



富山湾を知り尽くした奥田屋は旬の魚介の旨(うま)みを生かす昆布締めの特化メニュー

富山湾を知り尽くした奥田屋は旬の魚介の旨(うま)みを生かす昆布締めの特化メニュー

は、水揚げ直後は透明感のあるピンク色の身が太陽の光を浴びてキラキラ輝いて宝石のようだとされています。しかし、漁業として成り立つほどまとまって獲れるのはここ富山湾だけ。この繊細極まる富山湾の宝石、白えびを使って、創業文久元年の老舗「奥田屋」の職人たちが丁寧に仕上げたのが「白えびおぼろ昆布締め」です。

一口でとろける旨さに
「きときと」を連発！

一枚のおぼろ昆布締め70グラムに使われる白えびは、何と1



雨晴(あまはらし) 海岸からの遠景。3000m級の立山連峰と最深部1000m超の富山湾の対比は見る者を感動させずにおかない

20〜150尾。しかも一尾一尾手作業で殻から外す手むきされたものだけを使っています。これは熟練の職人でもたいへん時間がかかる作業です。この白えびのむき身をおぼろ昆布の上に敷き詰めて、さらにその



上におぼろ昆布をのせていくのが昔ながらの作り方。おぼろ昆布は濡れるととろけてしまうので、ここは職人の腕の見せどころです。

白えびは、殻付きのまま唐揚げやかき揚げ、釜揚げ、アヒージョなど、むき身にしてお刺身や握り寿司と、幅広く料理に使われる食材です。しかし、私はとろけるような甘みを堪能したいので、火を通さない昆布締めのような調理法が好きです。



職人たちの丁寧な手作業で引き出す、白えびならではの香り、旨み、食感



「白えびおぼろ昆布締め」は半冷凍のうちに白えびと昆布とを一口大に切っていただきます。まずは何もつけずに素材そのものの味を楽しむのが一番。その後、お好みでわさび醤油やしょ

うが醤油をつけて。お醤油をつけ過ぎると、白えびならではの繊細な味が薄まってしまつので、くれぐれもご注意ください。お口の中に海の香りがふわっと広がるやいなや、さすが天然

てみてはいかががでしょうか。自宅でもちよつとリッチな外食気分を楽しめますよ。そうそう、きときとという言葉は、古典の「宇治拾遺物語」などを見ると「きつぱり」と

の白えび、プリプリした歯応えにほんのり上品な甘さ。それにぴったり寄り添うおぼろ昆布のねっとりからみつくような食感。白えびに昆布の旨みや塩分が程よくしみこんで、刺身とは違った味わいを醸し出してくれます。ここはつきり辛口の吟醸酒あたりが欲しくなるところ。

いう意味もあるようです。令和の世の私もきつぱりと申し上げます。「白えびおぼろ昆布締め」、まことに「きときと」なり！

白えび おぼろ昆布締め

内容量：70g 2,480円（税込・送料別）

ヤマト運輸クール冷凍便にて配送

賞味期限……冷凍で30日間（冷蔵で3日間）

お取り寄せ・お問い合わせは

奥田屋 〒939-8231 富山県富山市下熊野463

TEL: 076-429-0029 営業時間：10:00～18:00

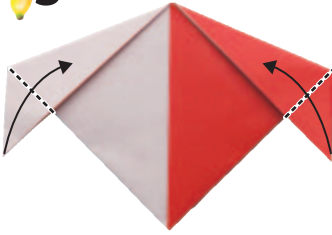
（定休日：日曜・祝日。年始年末、ゴールデンウィーク等も休業）

ホームページ：https://www.kobujime.jp/

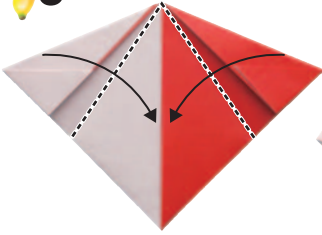




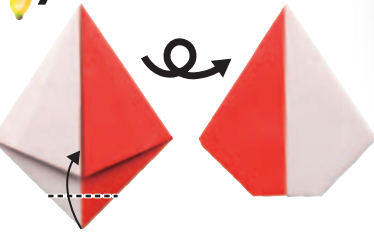
5 点線で折る



6 中心に合わせて折る



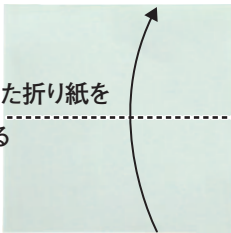
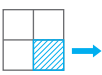
7 点線で折り、裏返す



ヨット・船体

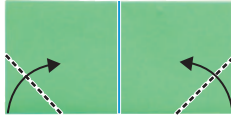
1

1/4に切った折り紙を
半分に折る



2

中心線をつけ
てから折る



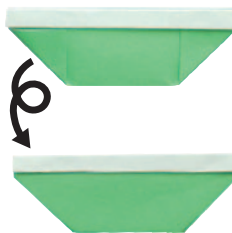
3

二回折る
(裏側も)



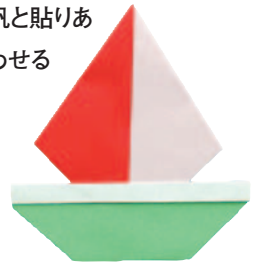
4

裏返す



ヨット・完成

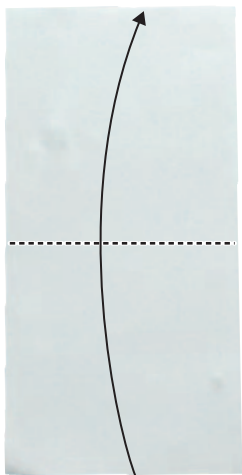
帆と貼りあ
わせる



リース

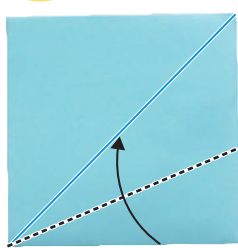
1

1/2に切った折り
紙を半分に折る



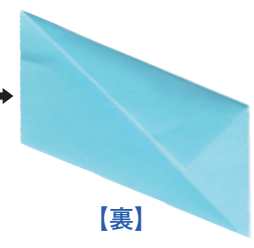
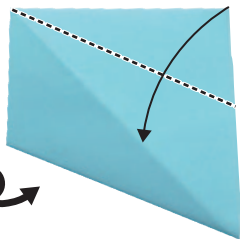
2

中心線をつけ
てから折る



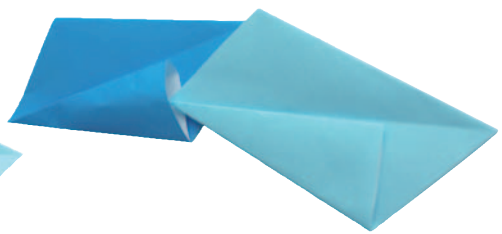
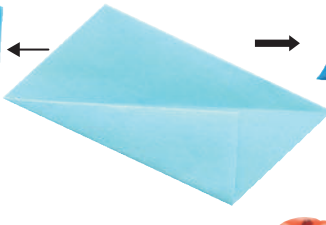
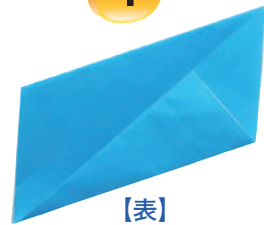
3

裏返して中心に折る。これを8枚作る



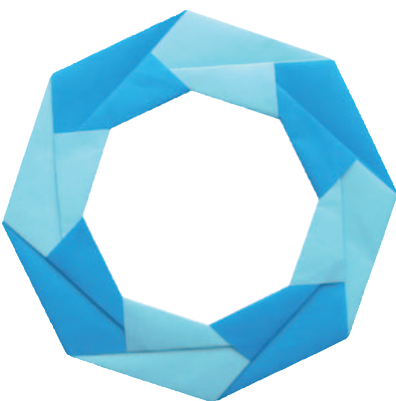
4

ポケットに差し込む



6

裏でセロテープでとめる



完成

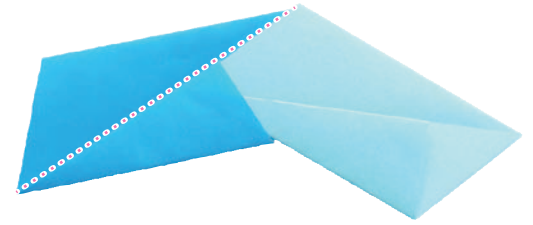
フレームの裏に折り
紙を貼り、カモメとヨ
ットを貼って完成!

色紙に
貼っても
ステキ!!



5

差し込んで点線部分がまっすぐになる
ように組み合わせていく



【いまいみさ】手づくりおもちゃ作家。
折り紙や牛乳パックなどをリサイク
ルして手づくりの楽しさを伝えてい
ます。著書に『12か月のおりがみ壁
飾り』など33冊。2011年から、小学
校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。

おりがみ協力:株式会社トーヨー

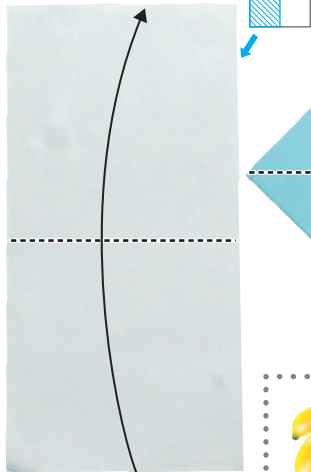


すいすいかモメと ヨットのリース

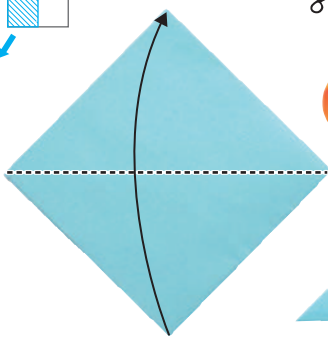


カモメ

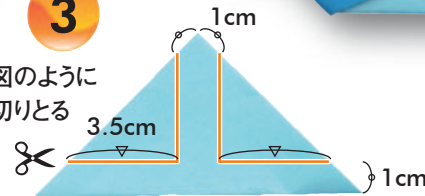
1 1/2に切った折り紙を
半分に折る



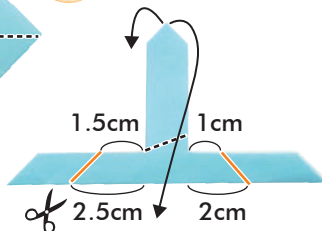
2 三角に折る



3 図のように
切りとる



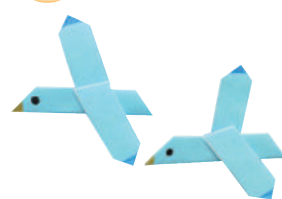
4 両脇を切りとって、
前後を線で折る



5 後ろの羽根
だけを上に
折る



6 羽根や口ばしに色
をぬり、目を描く

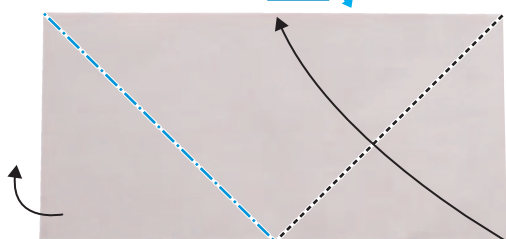


羽根の折り方も
いろいろアレンジ
してみてね

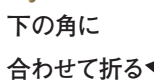
— 山折り
- - - 谷折り
↺ 裏返す

ヨット・帆

1 1/2に切った
折り紙を図の
ように折る



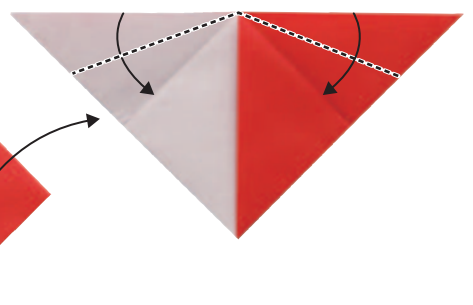
2 下の角に
合わせて折る



3 ひらく



4 折りすじまで折る



新型コロナとの戦いの記録

27頁からつづく



プレハブの待合室を 設置、ドライブスルー で処方箋も

〈佐賀〉唐津病院

当院は、地域の感染症指定病院が受け入れ困難な時等に保健所の指示のもと時間帯を限定して感染疑い患者の診察・検査を行なっています。

3月中旬に県内で初感染者が

確認され、入院患者の面会を禁止。家族の来院が必要な時は救急入口で職員が検温と体調確認をして、マスク着用のうえ必要最小限の人数で病棟に入ってもらっています。

市内で感染者が出た4月下旬以降は、正面玄関で外来職員が入館者全員の検温を実施。発熱者は車内で待機してもらっていますが、車で来られない方のために臨時でプレハブの待合室を



設置しました。外来では、看護師が予約患者を対象に急な来院を要さない人を抽出、医師が一人ひとり電話で状態を確認し、薬剤師が処方薬を郵送またはドライブスルー方式で渡しています。

（済生記者 相島蘭香）

ドクターリセラ社から マスク1万枚の寄贈

〈島根〉江津総合病院

4月30日、江津市内に事業所を置く化粧品・健康食品等の開発・販売企業・ドクターリセラ株式会社（本社／大阪市東淀川区）から、マスク1万枚の寄贈

がありました。

同社の奥迫哲也代表取締役は江津市出身で、これまでも車イスを寄贈いただくなど、当院の運営に多大な貢献をされています。贈呈式に出席した奥迫義成



専務取締役は「病院がマスク不足になると市民も不安に感じるので、有効に使ってほしい」と寄贈の趣旨を述べました。

中澤芳夫院長は「品薄で入手困難な中、貴重なマスクを寄贈いただき大変ありがたい。当院と島根県済生会の各施設における感染症対策に活用したい」と感謝の言葉を述べ、奥迫専務に感謝状を贈呈しました。

（済生記者 和原いづみ）

母の日に届いた生花に 家族の姿を重ね見る

〈新潟〉特養長和園

5月10日の「母の日」に、ご家族から郵送で生花が届きました。

例年の母の日には、たくさんのご家族が来園されるのですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で面会が遠慮いただいています。こうした中で届いた生花を、入居者さんはうれ

そうに受け取ると、しばし見つめながらご家族に思いを馳せていました。

緊急事態宣言は解除されましたが、日常生活のあらゆる場面で緊張が続いています。ともすれば、気持ちにゆとりがなくなり「他愛」を忘れそうにもなります。

しかし、こんなときだからこそ、家族や隣人とのつながりを忘れずに、お互いを思いやりながら過ごしたいと思います。

（済生記者 片桐大輔）

ローソンが医療応援 スイーツなど半額で 元気に

長崎病院

院内併設の「ホスピタルローソン」で4月23日、サンクスデーが開催されました。

コンビニのローソンは、新型コロナウイルス感染症の対応に追われる医療従事者向けに「医療応援」サービスを展開。全国の院内併設店舗で医療従事者へ

の感謝のメッセージを掲げ、4月～6月の各月1回、スイーツ各種と店頭で淹れるコーヒースサイズを半額で提供してくれるものです。

店内には「病院の皆さんありがとう」と書かれたポスター。



中村慎一オーナーは、「患者さん、医療従事者の皆さんの笑顔のために少しでも貢献できればうれしい」と話してくれました。

この日ローソンを利用した医療スタッフは「こんなサービスがあると元気が出る」と喜びの声が聞かれました。

（済生記者 河野太祐）



患者さんからシュー クリーム200個

福島総合病院

コンビニ店オーナーの患者さん
から4月24日、シュークリー
ム200個をいただきました。

医師・看護師・医療技術職
から事務員まで各部門に配布。
日々、忙しい業務にあたる職員
たちの大きな活力になりました。

福島市でも、新型コロナウイルス
の発生が確認されています。
当院では保健所からの要請で、
帰国者・接触者外来において診
察とPCR検査を1日当たり1
〜4件行なっています。現場で

働く職員は日々緊張の連続です。
こうした中での患者さんからの
お心遣いは、とても励みになり
ました。

新型コロナウイルス感染症の
一日も早い終息を願います。

(済生記者 齋藤有里)

利用者さんとご家族 スカイプで面会

〈福岡〉老健くれたけ荘

新型コロナウイルス感染拡大
防止対策で面会制限が続く中、
利用者さんやご家族の不安解消
のため、介護記録で使うパソコ
ンとタブレットを利用したスカ
イプ面会を実施しました。

当初は、利用者さんに職員が
インタビューして書いた手紙を
渡していたのですが、ご家族に
会えないことで不穏が生じる利
用者さんも出てきたためスカイ
プの活用を決めました。

ご家族はスマホの使用やタレ
ントがりモット出演するテレビ
に慣れているせいか、すんなり
とモニター越しの会話を進めま
す。半面、画面に映るご家族の
顔を不思議そうに眺める利用者
さんが続出。久しぶりの面会を



喜ぶご家族とのギャップも、ほ
ほ笑ましく感じられました。

中には会話もほどほどに「そ
れじゃあまた、お元気で」と面

会を切り上げようとする人も。
感染対策に苦しむ中で、ホッと
できるひとときとなりました。

(済生記者 杉田佳史)



感謝と激励の絵手紙で 癒やしと元気を チャージ！

京都府病院

「新型コロナウイルスが蔓延するなか、最前線で奮闘している医療従事者の皆様へ」と書かれた感謝と激励の絵手紙が、4月30日、当院に届きました。

送り主は、京都府向日市の公民館やコミュニケーションセンターで活動している絵手紙サークルの皆さんです。感謝の気持ちを届けることで医療従事者を励ましたいと、活動自粛中にもかかわらず、仲間と呼びかけて描いてくださったそうです。

温かみを感じられる手描きの絵には「ありがとう守ってくれて国民の命」「みなさんはコロナ闘いを照らす灯台です」などの感謝の言葉がつづられています。「病院の皆様がお元気でなくてはコロナの克服はありません！」といった励ましのメッセージも添えられていました。

職員は「絵手紙に癒やされて元気が出てきた」「応援の言葉は本当にありがたい」と、心のこもった贈り物に対して感謝の言

葉を述べています。

（渚生記者 白須優也）

看護職員の子ども 5人を大会議室で 一時預かり

〈愛媛〉松山病院

3月4日からの小学校休校に伴い、当院では大会議室を利用して、看護職員の子どもの一時預かりを始めました。

平日の8時半から17時まで、小学1年生～5年生の5人が利用。事務長・看護部長などが2時間交代で見守ります。

最初は不安な様子で緊張していた子どもたちも、ほどなく打ち解けていました。勉強を終えると、みんなで一緒に風船バレーやトランプ、秘密基地作りなどさまざまな遊びに夢中に。

お昼には保護者が来て子どもと一緒に



お弁当を食べます。お母さんの顔を見るなり、パツとうれしそうな表情に一変。
「遊んでもらえてうれしい」「トランプが一番楽しい」という半面、「学校が休みで寂しい」との感想も。保護者からは「家での留守番は子どもも寂しがるので助かる」と、感謝の声があがっています。

（総務課 木本薫子）



学童保育で職員の 就労支援

〈富山〉高岡病院

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で小学校が休校になったため、子どもを持つ職員

への支援として4月13日から臨時の学童保育を始めました。

当院は昨年、済生会高岡福祉・保育総合センターを旧高岡市医師会看護専門学校の建物を利用し開設。その建物の体育館や図書室兼学習スペースを活用し、保育士や病児保育に携わる看護師、また地元の小学校で教員をしていた方に協力いただき、職員の働きを支援することができました。

医療従事者への差別や風評被害により地元の保育園で預かってもらえなかったお子さんも預かり、4月は延べ59人が利用しました。

学童保育を行なうことで一人でも多くの医療従事者が勤務で



き、医療崩壊の危機を避け、地域の皆さんに安定した医療を提供する一助になったのではないかと思います。

（看護副部長 村本康子）

マスクやドリンク 様々な支援に感謝

高岡病院

新型コロナウイルス感染拡大で当院でも対応に追われる中、4月22日に地元の医薬品メーカー・パナケイア製薬から「同じ高岡市で新型コロナウイルスの脅威と戦っている職員の力になるように」と、同企業で製造しているタフゴールドD（栄養ドリンク）を1000本寄付いただきました。

支援の輪は広がり、これまで匿名の企業・個人の方からもご寄付をいただきました。マスク不足が叫ばれる中、中国からの直輸入でのマスク2000枚や自作防護服60着、また「以前、父がお世話になりました」との一文付きでタイガーマスクを名乗る方からN95と同等の機能がある防塵マスク50枚、県内のコストコホールセールジャパン社



からマスク5000枚をいただきました。

栄養ドリンクを直接受け取った野田八嗣院長は「いただいたドリンクは心身ともに職員の活力となります、心から感謝いたします」と謝意を述べました。

（済生記者 塚本崇基）

ガラス越しに家族と 2カ月ぶりの対面

〈愛媛〉西条特養

新型コロナウイルス感染予防対策のため、3月2日から面会を制限しています。こうした中



で、互いにお顔だけでも見て、入居者さん・ご家族に安心していただけるよう、5月からガラス越しやパソコン画面を通じた面会を開始しました。

この日は約2カ月ぶりの対面です。ガラス越しなので、初めは状況の理解が難しかった入居者さんも、顔を合わせたご家族の声かけで笑顔になりました。

「ご家族の名前を呼び「よう来てくれたね。ありがとう。体に気をつけて風邪をひかないよう、元気で帰ってくださーい」とうれしそう。帰り際には「気をつけて帰ってね」と、気遣う声かけも。

「ご家族も「久しぶりに会えて良かった。元氣そうで安心しました」と喜ばれ、私たち職員にとっても心温まるひと時となりました。

（介護支援専門員 大藪智子）

コロナ差別に反対 シトラスリボンプロジェクト

〈愛媛〉老健希望の園

「シトラスリボンプロジェクト」



リボンをつけた利用者さん

をご存じですか。新型コロナウイルス感染症患者や医療従事者への誹謗中傷をなくし、感染から回復した人を地域で温かく守る雰囲気づくりを目的とした運動です。

愛媛県・松山大学の研究者らが中心となって提唱し、積極的な普及活動で全国に賛同の輪が広がっています。

「アフターコロナを見据え、感染からの回復者や、社会生活を支える仕事の従事者（エッセンシャルワーカー）をサポートできる風土を地域で広めていく」ことは、済生会職員にとっても大切な使命の一つと考えます。

私たち希望の園スタッフは、この運動のシンボル「シトラスリボンストラップ」を作成し、

賛同する利用者さんやご家族、地域の皆さんに配布しています。身近なところから意識を変えていけばと取り組み始めました。

以下のアドレスで作ります。皆さんもいかがですか。
<https://youtube.be/nE9AlwWJZ2Q?t=107>
（事務主事 山本紀子）

感染管理認定看護師の指導でPPEの着脱訓練

〈熊本〉みすみ病院

新型コロナウイルス感染症の感染疑い患者受け入れに備え、個人防護具（PPE）の適切な着脱を可能にするための「PPE着脱訓練」を、4月から関連部署で実施しています。

感染管理認定看護師が動画を作成するなど事前準備をし、各

訓練後、スタッフは「脱ぎ方が難しい」「使ったものは全て捨てていいのか」といった反応を口にしていました。新型コロナウイルスとの戦いは長期戦になる可能性が高いため、繰り返し訓練を行なっていきます。

（済生記者 船橋麻紀）





バラ100本、プリン 防護服にマスクなど ……激励の差し入れ **〈栃木〉宇都宮病院**

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、個人・団体を問わず地域の皆さんから、当院の医療従事者に感謝のメッセージや多くの寄贈品が届いています。

治療にあたる医療従事者に癒やしを与えたいと、4月23日には地元のフレンチレストラン「ゲルメ」からシェフお手製のプリン30個が、5月12日にも「J・Aうつのみや」から100本のバラの花束が届きました。プリン

はICU・CCUの医師・看護師全員でいただき、バラは正面玄関や職員ロッカーなど院内各所に飾りました。

ほかにも、合計8000枚を超えるマスクや、ガウン・フェイスシールドといった防護具、コーヒー・お菓子などの食品、患者さんからの励ましの手紙など、さまざまな寄贈品が。

野間重孝院長は、「励ましの差し入れを多数いただき大変ありがた。これからも全職員で手を携え合って頑張っていきたい」と話しています。

地域の皆さんからのエールに、職員一同とても温かい気持ちになりました。そして地域の急性

期病院としての責務を果たさなければならぬと強く感じています。

（経営支援課 川原彩花）

役立つ情報たっぷり の広報誌とマスクの セットを緊急配布

**〈北海道〉小樽市南部
地域包括支援センター**

新型コロナウイルス感染症拡大で職場環境が一変しました。当センターも職場内の消毒や3密の対応、健康の自己管理などを、小樽病院の感染対策委員会と連携して行なっています。

また感染拡大防止のために、小樽市介護保険課と市内4カ所の地域包括支援センター間で協議。利用者宅への定期訪問は、緊急時以外は控えて電話連絡で対応することになりました。

その方針を受けて、当センター内で話し合い、毎年地域に配布している広報誌「みなみかぜ」を利用者さんに緊急配布することに。紙面には、感染症対策やフレイル予防の運動、頭の体操、栄養満点の食事やデザートレシピの情報を掲載しており、厚



生労働省から届いたマスクも一緒に届けました。

今後も油断ができない状況が続きます。利用者さんが健康に過ごせるような取り組みを職員一同、発案し実行していきたいと考えています。

（済生記者 渡邊紳一）



ふじ児童館から かわいい手づくりマスク 福井県済生会病院 院内 保育所・ぽっかぽか園

色とりどりでかわいい絵柄の手作りマスクを5月11日に、福井市・ふじ児童館からいただきました。

マスクには「☆ファイト! ☆子供用マスクをつくってみました。もしよろしければ、お使いください」のメッセージが添えられていました。臨時休館中につけてくれた児童館スタッフの

みなさんの思いが込められています。

カラフルなマスクを手にした園児たちは、思いがけないプレゼントにうれしそうな様子で、みんなで正しい着け方を学びました。まだまだ練習中ですが少しずつでも上手になって、「うつらない」「うつさない」を目指します。

(済生記者 吉川千恵)

隣接の行田電線から N95など5000枚 超のマスク

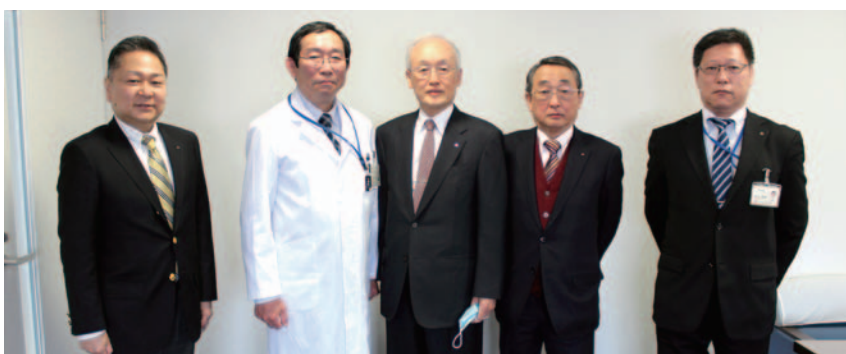
〈大阪〉野江病院

当院隣に本社を置く行田電線社から4月24日と5月8日の2回にわたり、5000枚を超えるマスク(N95マスクを含む)の寄贈がありました。

医療物資が不足する中、当院ではビニール袋を用いたガウンやクリアファイルを用いたフェイスシールドなどを自作して、新型コロナウイルス感染症に備えてきました。それだけに、職員一同心から感謝しています。寄贈された医療物資は大切に使用し、引き続き適切な感染防止

対策を徹底していきます。

ほかにも複数の企業・団体・個人から、マスクやフェイスシールドなどの寄贈がありました。



改めて、皆さんの温かいご支援とご協力に心から感謝するとともに、今後も地域の皆さんに安全で安心な医療の提供に努める決意を新たにしています。

(済生記者 坂本千晶)

入所者用マスク作り 工房・湘南苑大活躍

〈神奈川県〉老健湘南苑

サージカルマスクの在庫が心細くなったゴールデンウィーク前、当苑の湯山早苗看護師がミニハンドタオルを使って、入所者54人分のマスクを自宅で作ってきました。

それを皮切りに、島山洋子看護係長の指揮のもと、各職員の家で眠っていた材料を持ち寄り、看護・介護職員を中心に、有志のメンバーが休みの日は立体マスクの作成に励みました。

通所リハビリ・訪問リハビリ



の職員とその家族の作品も寄付され、1週間で300余セットとなりました。

5月半ばには、色とりどりのマスクの花が咲いて、家族との面会がかなわず元気のなかった利用者さんも、笑顔になる時間が増えました。

もう一つ意外な収穫だったのは、当苑職員の中に、裁縫名人が多く存在したのだ！という事実です。マスクが一つできあがるごとに、クオリティーはどんどん上がっていきます。「工房・湘南苑」のお陰で、職員の情熱と団結力も更に上がっていると感じました。

（管理栄養士 白石雅恵）

有名専門店から 全職員にチョコ

〈北海道〉小樽病院

洋菓子で有名な「ルタオ」のチョコレート専門店（小樽市内）から、「新型コロナウイルスに負けないで医療を提供し続けてください」のエールとともに、チョコレート500個（全職員分）をいただきました。

頂戴したのは「サンテリアン」というチョコレート。フランス語のSANTÉ（乾杯）とLIAN（絆）を組み合わせた造語で「家族を大切な人を、久々に会う友人をもてなしたい」との思いを込めているそうです。

チョコレートにうるさい職員いわく「カマンベールの香りが漂い、いつもチーズ感は強くな、表面に乗るドライりんごの爽やかさが残るおいしいホワイトチョコレートでした。何より、新型コロナウイルスと戦う勇気をいただきました。ただただ感激していました。

新型コロナウイルスに打ち勝って、サンテリアンをつまみながら、みんなでSANTÉしたいです。

（済生記者 松尾覚志）





事務職員が奮闘 手作り医療用ガウン

〈大阪〉中津病院

新型コロナウイルス感染拡大で医療資材不足が問題になっている中、当院では急遽、4月27日から職員による医療用ガウン作りを始めました。内視鏡センタ―等で使用するストックが残りわずかとなったためです。

4月以降、保険者等からの休止要請を受けて、健診業務をストップしている中津病院総合健診センターの待合スペースを利用。事務職員が協力して製作にあたりました。



材料は2サイズのゴミ袋で45ℓが袖に、90ℓは胴のパーツになります。当初は他病院の作り方を参考にしていたですが、看護部職員の協力で、使いやすさと作業効率を両立した当院オリジナルの図面を作成しました。胴体と腕のパーツを接着する際に使うドライヤーも、市販のものでは熱量不足なため、資材課職員がホームセンターを探し回り業務用ヒートガン調達しました。

今回のコロナウイルスとの戦いは、医師・看護師はもちろん、院内のさまざまな部署の職員が協力して頑張っています。

〈活生記者 久原市子〉

タカハ機工から 当院仕様の防護具

〈福岡〉飯塚嘉穂病院

タカハ機工株式会社（飯塚市）から4月28日、当院仕様のオーダーメイドで作製したフェイスシールドとゴーグルの寄贈を受けました。

同社は「ものづくりの町工場」として定評のある地元企業で、当院のイノベーション（技術革



新）活動でも連携しています。防護具の在庫不足を相談したところ、フェイスシールドとゴーグルを短期間で仕上げてくれました。

購入するつもりで依頼したのですが、同社のご厚意によりすべて寄付していただけることに。迅速な対応と併せて感謝の気持ちでいっぱいです。防護具はその日のうちに院内の必要部署に配付し、感染防止のために大切にに使わせていただきました。

改めて地域の人々に支えられていることを強く感じ、これからも地域のために安全安心な医療を提供しなくてはならないと気持ちを新たにしました。

〈経営企画室 春口勇介〉



メッセージボードで 最前線の同僚を激励

福井県済生会病院

3階の渡り廊下に4月13日、新型コロナウイルス感染症の最前線で奮闘するスタッフに向けて、全職員から声援を送るメッセージボードを設置しました。感染症チームの岩井和之医師から「一生懸命に頑張っている専用病棟などの現場スタッフを励ましたい」との提案があり実現したものです。

ボードには「あなたたちの使命感、尊敬しかありません。ありがとうございます」「毎日大変な業務の中、笑顔を絶やさず患者さんのために一生懸命働く姿に頭が下がります」など、職員から次々と感謝や励ましの言葉が寄せられました。

これに対して専用病棟のスタッフから「私たちをサポートしてくれている職員の皆様へ」と題し、「皆さんの温かい支援、協力があるからこそ頑張れます。早く収束することを願って一緒に頑張ります」など返信のメッセージがありました。

職員全員が心を一つにし、や

がて訪れる収束を信じてともに立ち向かっています。

(済生記者 吉川千恵)

オリジナル体操で コロナを吹き飛ばせ！

〈愛媛〉老健希望の園

当施設では、自宅でも簡単に健康維持・廃用予防に活用してもらおうと、リハビリスタッフが考案した「コロナなんて体操」のDVDを作成。新型コロナウイルスのリスク回避のため休止している、通所リハビリの利用者さんに無料配布しました。



とで起こる「心身の廃用」を何としても防ぎたいと考え、今できることは何かを問い続けて生まれたアイデアです。このような事態の中でも、在宅生活を支え続ける「福祉の踏ん張り」を発信したいという私たちの思いを体現しました。

外出自粛中で自宅に居ながらも、これを見て少しでも体を動かし機能維持を図ってもらいたいと考えています。

おかげさまで大変評判が良く、希望者や関連事業所にも、ホームプログラムの一助にしているように配付しています。

(リハビリテーション係長

田中太二)

職員の子どもの手作り 100組の防護服と ナイロンキャップ

滋賀県病院

ポリ袋などで作った簡易防護服とナイロンキャップのセット100組を、4月28日に寄贈していただきました。当院の看護師のお子さんが「病院の医療資源が不足している……」と母親から聞き、作り方をインターネッ

トで調べて、約1カ月かけて作り上げてくれたものです。

その子は「命を守ることの大切さを知り、人のために働きなさい」と幼いころから教えられ、何か手伝えることないかと考えて、簡易防護服作りを思い立ったそうです。寄贈品に添えられた手紙には、現場の最前線で働く医療従事者への感謝の気持ちがこめられていました。

このほかにも、多くの皆様から医療物資等の寄贈をいただいています。病院や私たち職員に向けられた県民の温かな思いやりの心に、職員一同感謝でいっぱいです。

（済生記者 西澤真由美）



地域の皆さんから 感染防止対策グッズ 身にしむ温かさ

〈大阪〉吹田病院

新型コロナウイルス感染症が全世界で拡大し続け、当院でも感染防止対策に全力で取り組んでいる中、マスク・防護衣・消



毒液、フェイスシールドなどの寄贈がありました。

地域の企業・団体、近隣住民、職員の友人・関係者、当院の岡上武名誉院長が所属する吹田ロータリークラブなどから贈っていたものです。

感染の危険と隣り合わせで診

療にあたっている職員が、安心して業務を遂行できるようにといただいた今回のご支援。不安と緊張が連続する毎日を過ごすわれわれの大きな支えとなっています。

こうした皆様の温かいご支援を胸に、全職員で済生会の使命を果たし、当院の診療機能維持に努めていきます。

（済生記者 橋本 茜）

「コロナに負けるな」 の声を力に 一丸で「収束宣言」

〈埼玉〉川口総合病院

当院は新型コロナウイルス感染症に対し、保健所の依頼に基づいてPCR検査を実施し、軽症者の入院を受け入れてきました。そうした中で、4月10日以降、入院患者と職員から計11人の感染を確認しました。

院内感染を広げないため、大幅な診療制限などさまざまな対策を実行。普段とは異なる勤務体制や自粛生活によるストレスで、職員には次第に疲弊した様子も表れ始めました。

そうした中のある日、病院



の向かいにある会社の壁に「ガンバレ!! コロナに負けるな」という大きな手書きメッセージが貼り出され、大変励まされました。このほかにも、地元企業や地域の方から温かい応援の言葉が届けられ、マスク・消毒薬なども多数提供いただいています。

院内感染については、対策本部による活動や職員の努力で、5月7日に無事「収束宣言」を出すことができました。

地域の声援に応えるためにも気を緩めることなく、新型コロナウイルス診療を含めた質の高い医療の提供に努め、地域に貢献していきたいと思っています。

（済生記者 内藤友美子）

新型コロナとの戦いの記録

ハッピーターンに 職員の緊張和らぐ

〈新潟〉三条病院

全国でも有名な亀田製菓の商品を販売するアジカル社から、主力商品である「亀田の柿の種」と「ハッピーターン」の寄付がありました。

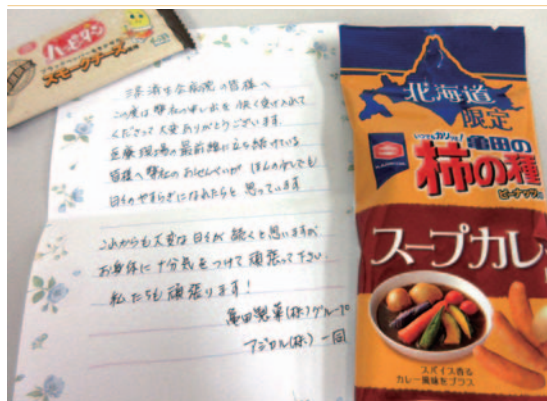
5月19日に400人分として段ボール30箱を、直筆のメッセージ



ジを添えて同社の方が直接届けてくださいました。新型コロナウイルスとの戦いに日夜奮闘する医療機関に感謝と応援の気持ちを伝えたいと、県内40以上の病院に届けているそうです。

お菓子の山を目にした職員からは笑顔がこぼれ、日々の感染防止対策への緊張感で張り詰めていた空気も少し和らいだように感じました。

当院への温かいご支援を職員一人ひとりが力に変え、新型コロナウイルスの脅威から地域医療を守るためにこれからも戦い続けます。アジカル社の皆さん、どうもありがとうございます！
(済生記者 治田貴大)



室内でイチゴ狩り

大阪乳児院

5月5日のこどもの日に、当院で「室内イチゴ狩り」を開催しました。

例年この時期には楽しいイベントをたくさん企画していますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で全て中止に。少しでも子どもたちを楽しませたいと、保育士がSNSの情報にヒントを得てスタッフ全員で考えました。

お昼には子どもたちの日の特なお弁当と手作りカップスイーツを用意。その

かわいさに、みんなで盛り上がりました。

午後からはメインイベントのイチゴ狩り。ビニール紐を室内に張り巡らせ、洗濯バサミでイチゴを吊るして準備完了。三密を避け、少人数に分か



れて入室し、イチゴを触る前には手指の消毒をするなど感染防止対策を徹底しました。イチゴを見た子どもたちは目を輝かせ、洗濯バサミから一生懸命にもぎ取って口に運んでいました。
(済生記者 久原市子)



熊本、松山から「愛」をお届けします！



熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」
熊本県熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428



松山ワークステーション「なでしこ」
愛媛県松山市東山町 143 番地 Tel: 089-916-6959



焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。
熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが出店し、済生会のホームページ上で営業中です。
商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追い越せと、一生懸命つくりました。
どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お中元、お歳暮にも最適です。 店主敬白



◆クッキー (左上から時計回りにマープル、ゴマ、プレーン、クルミ)



♥ギフトボックス (クッキーとパウンドケーキの詰め合わせ)



♣くまドレーズ (くまの形で、手軽に食べられる大きさのマドレーズ)



♠元祖クッキー (片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

済生会のトップページからアクセス!!
<https://www.saiseikai.or.jp>



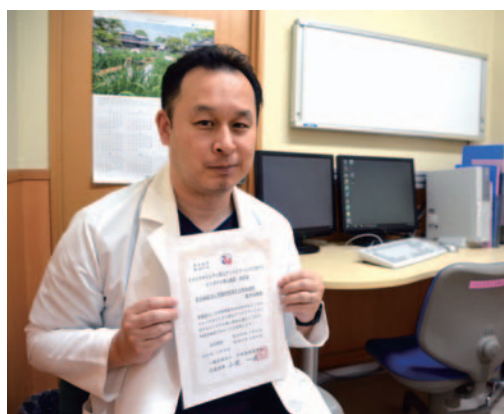
ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。





〈熊本〉宇城市三角町 アジサイ
撮影 熊本県済生会支部事務局 木村智子

topics



心臓治療薬ビンダケル 導入施設に認定

熊本病院

当院は3月18日付けで「トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対するビンダケル導入施設」の認定を受けました。

トランスサイレチン型心アミロイドーシスとは、「アミロイド」という異常タンパクの固まりが心臓を中心に蓄積する疾患です。治療をせずにいると心臓がタイヤのゴムのように硬くなり、働きが悪くなってしまう。しかし、従来は対症療法しか選択肢がなく、診断後5年も経つと緩和医療に

移行することの多い疾患でした。それに対しビンダケルは、病態の進行を抑制することができ、画期的な治療薬です。治療を担当する集中治療室の山室恵医師は、「根本的な治療ができず亡くなる人の多い疾患でしたが、これで治療に希望が持てるようになりました」と意気込みを語っています。

（済生記者 森本通子）

訪問看護ステーション 「夢の実」を開設

〈埼玉〉鴻巣病院

当院の訪問支援係は、4月1日から「埼玉県済生会訪問看護ステーション夢の実」に生まれ変わりました。それに伴い、人員も従来の看護師2人から、看護師5人・精神保健福祉士1人の手厚い体制としました。

当院の訪問看護は、1992年に「看護部地域ケア室」を立ち上げ、高齢者中心で開始。その後、長期入院患者さんの退院促進に伴い、多職種連携による地域生活サポート主体の「支援部医療支援科訪問支援係」に変更してきた経緯があります。

精神科訪問看護の役割は、ま

ずは利用者との信頼関係を構築しドアを開けていただるところから始まります。

今後さらに、本当に必要な支援を希望に沿って提供できるように「夢の実」スタッフ全員で一丸となって努力していきます。

(訪問看護ステーション夢の実

管理者 小田木友)



關院長に 東京高検から感謝状

鴻巣病院

3月1日付けで当院の關紳一院長が、東京高等検察庁検事長

から簡易鑑定業務への貢献に対する感謝状をいただきました。

簡易鑑定とは、通常一日で行なう精神鑑定のことです。精神鑑定は、精神症状が事件に関与していると法律の専門家が判断した際に行なわれます。その結果は刑事責任能力が問えるかどうかを判断するための参考材料となります。

關院長は、当院に着任した2000年以降100件以上の簡易鑑定に携わってきまし



た。2012年の院長就任後も、週2日の外来診療のほか、県警や市職員の健康診査、市民の健康保健相談などを担当。院内外の精神保健に関し、精力的に対応しています。こうした多忙な業務の合間を縫って行なっ

てきた簡易鑑定が評価されたことは、当院としても大変喜ばしいことです。

(済生記者 田島利恵子)

京都府病院

新病院に向けて 長岡京市と協定

7月の当院の新病院建築着工を前に、長岡京市と「移転新築整備及び運営等に関する基本協定」を結びました。5月21日に締結式が行なわれ、中小路健吾

長岡京市市長(写真

左)と中村直登支部

長(中央)が協定書

に署名しました。

本協定は、当院の新築移転と移転後の適切な病院運営を確保することで地元の長岡京市の保健医療の向上と地域医療の充実を図ることが目的です。

「長岡京市地域医療ビジョンの『中核病院に求める機能』として救急医療、災害医療、周産期・小児医療の充実や、今般



の新型コロナウイルスのような感染症対策など、引き続き市民病院としての役割を果たすとともに、新病院も市民の安全・安心の象徴になってほしい」との長岡京市市長の期待の言葉にも応えていかねばなりません。

締結式での中村支部長の「新病院になっても明治天皇の済生会創立の精神を忘れず地域医療に取り組んでいきたい」との言葉に、職員一同決意を新たにしました。

(企画広報室長 松岡志穂)

topics



手芸クラブで カーネーション作り

〈山形〉養護（盲）
老人ホーム山静寿

5月10日の母の日にちなみ、手芸クラブで布とフェルトのカーネーションを作りました。毎週水曜日に入所者3人、職員1人で活動しているこのクラブ。落ち着いた雰囲気の人ばかり

りですが、指先の動きは無駄がなく非常にスピーディーです。活動のたびにテーマを決め、それぞれができることを生かし、力を合わせて作品を制作。担当職員は段取りを考え、周到な事前準備で支援しています。

5月のテーマは母の日となり、カーネーションを作ることに。チェックやドットの模様が入った布で作る花は、本物とはまた違った魅力にあふれました。

「楽しかった」「母を思い出しながら作った」「気に入って部屋に飾っている」と感想を述べる皆さん。完成したカーネーションの出来映えに手応えを感じていました。

（済生記者 丹 秀樹）

初の看護師特定行為研修

福岡総合病院

看護師特定行為研修開講式を4月6日に実施しました。研修生は院内外から募集した5人。2月に厚生労働省から特定行為研修機関の認定を受けたばかりの当院にとって、初めての研修生です。

救急救命センターを有し、重症患者を引き受けている当院は、



急性期医療の充実、地域への貢献という役割に照らし、以下の5区分を選択しました。①呼吸器（気道確保関連）②呼吸器（人工呼吸療法関連）③呼吸器（長期呼吸療法関連）④循環動態に係る薬剤投与関連⑤栄養および水分管理に係る薬剤投与関連。医療機関においてだけでなく、在宅ケアでも患者さんに必要な医療をタイムリーに提供し、臨床で活躍できる人材の育成に努めます。

（済生記者 小田温子）

2人が特定行為研修修了

〈北海道〉小樽病院

看護師特定行為研修第1期生



2人の修了式と、第2期生1人の入講式を4月28日、当院講堂で挙行了しました。

当院は2018年2月に8区分の指定を受け、同年4月に研修をスタート。第1期生の石



渡明子さんは3区分を、根布実穂さんは2区分を、1年9ヵ月かけて修了しました。

研修はeラーニング、演習、実習を通常業務と両立しながら継続して行なうハードなもの。根布さんは「超高齢社会の中で、在宅ケアでも活躍できるように頑張ります」と力強く語っていました。

和田卓郎院長は、「本研修を修了した看護師は今後ますます地域に必要な。小樽の地域医療に貢献してください。入講した平岩さんは、これから1年、業務と研修の両立は大変でしょうが頑張ってください」と、エールを送りました。

第2期の研修は5月開始です。

（済生記者 松尾寛志）

〈佐賀〉老健まつら荘

「免疫力アップに」と ざる豆腐50丁の贈り物

「入所者さんの免疫力アップに少しでも役立ててほしい」と、地元で有名な老舗豆腐店が5月6日、名物のざる豆腐50丁を差し入れてくれました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、入居者さんの外出・

外泊の自粛やご家族の面会中止が続いている中で、少しでも笑顔を取り戻してもらいたいという思いが込められた贈りものです。

このざる豆腐は、ミネラルをたっぷり含んだ本にがりを使用し、大豆の甘みとうま味を引き出した風味豊かなもの。早速、翌日の昼食に入居者さんに提供したところ「大豆の味がしておいしかあ」と、皆さん一度は口にしたことがある逸品を喜んで召し上がっていました。

厳しい状況が続く中、誰もが笑顔になれたひと時でした。

（済生記者 小峰真理子）

〈和歌山〉有田病院

患者さんの心を癒やす 看護の日のポスターと花

5月12日の「看護の日」に合わせて、正面玄関や各病棟にポスターを掲示し、花を飾りました。

当院では例年、外来・入院患者さんに看護の日の記念品をお渡ししてきましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から断念。みなさんに少しでも明るい気持ちを持つても

らえるようにと、ポスターと花の飾りを企画したのです。

ポスターは毎年4月に入職した新人看護師が中心となり、地域住民と患者さん向けに気持ちを込めて作成しています。患者



さんからは「きれいなお花を拝見し、沈んでいた気持ちが晴れやかになりました」などの声をいただきました。

一日も早く新型コロナウイルスの事態が終息し、来年には例年通りの看護の日を迎えられることを願っています。

（済生記者 大向伸正）

〈静岡〉特養小鹿苑

茶娘が登場 無病息災を願う新茶会

新茶会を5月13日に行ない、入居者さんに3種類の上生菓子と芳しい新茶を振る舞いました。静岡といえばお茶。年に一度の特別な時期がやってきました。



爽やかな香りと甘みを持つ新茶。お茶をたくさん飲む静岡でも、昔から「新茶を飲むと病気をせず、長生きする」という言い伝えがあります。

雰囲気盛り上げようと、職

員4人が茶娘に变身。茶娘の入れた新茶がおいしかったのか、それとも言い伝えを意識されたのか、何杯もおかわりする入居者さんが多く、新茶会は大好評でした。

ゆったりとした時間の中で、利用者さん同士の話もはずみ、たくさん笑顔を見ることができました。

（済生記者 宮上香夢）

〈兵庫〉なでしこ神戸保育室 晴天の日課はイチゴ狩り

5月になり、天気の良い日は決まって、子どもたちが「おはよう、今日は晴れているからイチゴに行ける？」と元気に登園してきます。

なでしこ神戸の庭にイチゴを育ててもらっていて、みんながそろそろ「行こう！」と容器を持って畑に行くのが日課です。途中、窓越しに特養の利用者さんが手を振ってくると、子どもたちは「イチゴ行くねん！」と得意そうに返します。

イチゴ畑に着くと「あかくなっているかな」「これ採っている？」とイチゴに夢中。我慢できずにその場で食べてしまいな



かなか容器にたまらない子、一生懸命採って山盛りのイチゴを大事そうに持っている子と、それぞれ。洗ってみんなで食べるタイミングも、また「おいしいね」ととびきりの笑顔に。イチゴのビタミンパワーで元気に過ごしていきたいです。

（なでしこ神戸保育室

保育士 山口真由美）

おうちdeヨーガに30人

熊本病院

Web会議ツールのZoomを活用した職員向けの「おうちdeヨーガ」を、4月28日と5月1日に開催しました。

当院では健康づくりキャンペーンの一環で、2017年から「オフィス・ヨーガ」を開始以来、月1回のペースで開催し、参加人数は延べ300人超と人気を博しています。しかし、新型コロナウイルスの感染

ちdeヨーガ」を、4月28日と5月1日に開催しました。



拡大に伴い院内での開催は中止に。その代わりとして、今回はオンラインで開催しました。

2日間で計30人が自宅から参加し、ヨーガを体験しました。夫婦やお子さんと一緒に参加す



る人もいて「心身ともに、久しぶりにリラックスできた」と声も。

今後職員が少しでもホットした時間を過ごせるよう、さまざまな取り組みを行なっています。

（職員健康管理室 今吉美沙）

〈愛媛〉松山乳児保育園

楽しい子どもの日

5月1日に、みんなで「こどもの日」のお祝いをしました。

おやつは手作りの柏餅。用意した柏の葉を給食室で色よくゆで、蒸したてのお餅を包んだ香りのよい柏餅です。こいのぼりが風をはらんでなびく様子を園庭で眺めながら食べました。

「あったかいね」「やわらかい」



などと言いながら、一口ずつおいしそうに食べる園児たち。職員は、子どもたちが健やかに成長するようにと願いながら見守りました。

園内のホールにも、子どもたちが自由に触って遊べるように大きなこいのぼりを用意。その上に寝転がったり、トンネルのように口からしっぽまでくぐったり、こいのぼりの歌を口ずさみながら友だちと一緒に歩いて歩いたり、思い思いに楽しめ笑い声を響かせていました。

（済生記者 乗松恵理子）

〈静岡〉川奈臨海学園

こんな時こそ楽しもう！ みんなでストレス発散

4月28・29日に、感染防止に気を配りながらカラオケとスポーツレクリエーションを実施し、36人の子どもたちが参加しました。こんな時こそ楽しい時間をと企画したものです。

カラオケは、食堂に大きなスピーカーとスクリーンを設置して実施。参加した小学生の女の子は「カラオケボックスみたいで、みんなと一緒に歌って踊って楽しかった」と満面の笑み。



スポーツレクには幼児から高校生まで全年齢が参加。転がしドッジボール・ペットボトル倒し・チーム対抗リレーを行ないました。幅広い年齢の子どもたちが夢中でプレーし、交流を深める姿が印象的でした。

いつまで続くのかわからない自粛生活は極めてストレスフルです。子どもが安心・安全を感じられる環境を整え、心身の健やかな成長と自立を支援するという責任の重さを、改めて実感しています。

（児童指導員 栗原樹生）



千代紙で鯉のぼり作り

〈愛媛〉西条特養

71人の利用者が5月7～9日と11日の4日間に、デイサービス事業所で鯉のぼりを作りました。

鯉のぼりをかたどって職員が用意した色画用紙に、利用者さんがうろこ形の千代紙を貼り付けていきます。

1枚ずつ丁寧に貼る人、千代紙をさらに細かくちぎって貼る人などさまざま。鱗の向きを逆に貼ってしまい、みんなの笑いを誘った人も。

作品の裏に記名し、紐に通して利用者さんの頭上に飾ると、鯉が気持ち良さそうに泳いでいるよう。「この人はきれいに作つとるねえ。上等じゃ」「こうやって並べて飾ると見事ね」と即席の品評会。飾り終わった作品は、自宅に持ち帰ってもらいました。

新型コロナウイルス感染症の影響で外出行事や集団でのレクリエーションが実施できない中、とてもよい気分転換になりました。

（済生記者 村尾友和）

パネル展示中心の「看護の日」イベント

〈山口〉下関総合病院

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年の5月12日の「看護の日」はイベントを縮小し、パネル展示中心で行ないました。

看護師長会ワーキンググループを中心に、地域のみなさんに知ってもらいたい済生会の「組



織・歴史・基本理念と使命」をパネルにまとめて展示。また、副師長会・主任会のチャレンジ活動、新人看護師や部署の専門性の紹介、認定看護師による豆知識の発表もしました。

さらに、マスクの作り方講座の動画を流したり、面会を禁止している入院患者さんに心を込めて手作りのメッセージカードを配布したりもしました。

展示を見た患者さんは「自分のことだからしっかり勉強しないとね。済生会はいろいろな取り組みをしてくれてありがたい」と言っていたかったです。

（済生記者 新田和美）

〈新潟〉なでしこ青空保育園 苗植えを通して自然に親しむ

5月を迎え、今年も保育園の畑・あおぞら農園で野菜栽培が始まり、子どもたちが苗植えを行ないました。

サツマイモ・枝豆・ジャガイモ・トマト・スイカ・お米など9種類の作物を育てます。土づくりや畝づくりなどの準備が整い、いよいよ子どもたちの出番。何度も経験している5歳児は苗

topics

の扱い方が上手で、両手で支えながら、折れないように優しく植えました。3・4歳児は苗植えを頑張りながらも、土の感触



の気持ちよさに気づき、いつの間にか土遊びや花摘み、虫探しに発展。

「土の中って冷たいね」「ミミズの顔ってどっち?」と子どもたちの関心は多方面に広がり、畑仕事は大盛り上がり。野菜栽培を通して作物の生長に興味を深めただけでなく、土や虫にも親しみました。

こうして自然とともに遊ぶ経

験が、子どもたちの心を豊かに育てるのだと感じました。

(主任保育士 柳取友恵)

なでしこ青空保育園

待ちに待った初挑戦 3歳児が冒険塔を征服!

3歳児22人が5月上旬の天気がいよいよ、園庭にある「冒険塔」に初挑戦しました。

冒険塔は、はしごやボルダリング、滑り台を楽しめるアスレチック遊具のこと。進級前に「き



りん組(3歳クラス)になったら挑戦しよう」と楽しみにしていたのです。

勢いよく登り始めますが、高

さがあるのでなかなか頂上までたどり着けません。それでも保

育士の励ましを受け、どの子もあきらめずに繰り返し挑戦。す

ると、保育士の手を借りずに登り切る子が次々と現れました。

最終的に15人ほどがゴール。頂上に着くと「できたー」とうれ

しそうに保育士に知らせる表情が印象的でした。

この遊びを通して、繰り返し挑戦し「自分でできた」という

達成感を体験した子どもたち。これからもさまざまなことに挑

戦していつてほしいです。

(済生記者 梨本あゆみ)

〈大阪〉野江病院

コロナに負けず咲く花

駐車場の植込みに、たくさんきれいな花が咲きました。

この花は、重地域活動協議会や地域のボランティアの人々の協力の下、近隣のすみれ小学校

の児童が育てたプランターを、地域のいろいろな場所に設置する「フラワーロード」という取

り組みによるものです。当院では毎年3月下旬から5月上旬ご

ろまで設置しています。

当初はつぼみだったチューリップやパンジーが、気温の上昇とともに次々と開花し、植え込みは日ごとに鮮やかに色づいていきました。花に誘われ足を止めた患者さんや地域の人は「き



れいに咲いているね」と笑顔になり、写真を撮る人も。

小学生が一生懸命に植えて育ててくれた花たちが、新型コロナウイルス感染症にも負けず力強く咲いている様子に、職員も毎日元気をもらっています。

(済生記者 坂本千晶)



「火事だー!!」 新入職員5人が消火訓練

〈山形〉特養愛日荘

5月13日、当施設で新規採用職員5人が消火訓練を行ないました。

初めに、管理権原者（防火管理の最終責任者）・阿部久施設長が、訓練の

重要性についてあいさつ。続いて、防火管理者の大泉克仁管理課長が防災計画・防災設備などを説明。受講者はメモを取りながら熱心に聞き、質問していました。

その後の水消火器を用いた実技では「火事だー!!」と大声で周囲に知らせる火事ぶれを行ない、炎に見立てた三角コーンに水を浴びせて消火。

訓練後、受講者からは、「火事ぶれも消火実技も初めてで緊張した」「防火体制が徹底していると思った」などの感想が。こうした訓練は新入職員にとって大切だと感じました。

（済生記者 高橋 睦）

4コースでスタート！ 特定行為研修入講式

熊本病院

看護師の特定行為研修入講式を4月13日に開催し、第一期生6人が参加しました。

「特定行為」とは、看護師が医師の指示の下、手順書により行なう高度な医療行為のこと。

当院は2月26日付けで厚生労働省から看護師特定行為研修指定研修機関に指定され、本年度から研修を開始することになりました。研修期間は約1年間。



当院では7区分17行為を含む4コースを開講しました。

入講式では、中尾浩一院長が「看護師のロールモデルとしてしっかり頑張ってほしい」と激励。

研修生を代表し、救命救急センター所属の井浦弥生看護師が「安全でタイムリーな医療を提供できるようスキルアップしたい」と抱負を語りました。

（済生記者 森本通子）

〈山形〉はやぶさ保育園

草花遊びが大人気

4月下旬、正門にある花壇で例年より早く開花した鮮やかなチューリップの花びらを使った草花遊びが流行りました。

保育者がチューリップの花びらを集めると、園児がボウルに入れて石ですりつぶし、思い思いの色水作りが始まります。

赤と黄色の花びらに水を加えて「ジュースだよ」と言って作り始めたのに、すりつぶすうちにだんだん色が濃くなって「カラーになった!」と、色の変化の不思議さを楽しむ様子が見られました。白い花びらからは色が出ず「牛乳にならないね」と



残念そうにつぶやく子も。

花びらが変化する様子を五感で感じ、新たな発見を想像力豊かに表現する子どもたち。自然に触れながらのびのびと遊んでいます。（済生記者 峯田美咲）

〈山口〉豊浦病院

いつもと違う看護の日

5月12日は「看護の日」。入院患者さんへ記念ボックスステイッシュを配布し、正面玄関前ホールに生花を飾り、看護部の取り組みを紹介しました。

例年は、近隣のスーパーマーケットに「まちの保健室」を出店するなど、さまざまなイベント



トを実施しますが、新型コロナウイルス感染症予防のため、規模縮小を余儀なくされました。

患者さんに私たちの思いが伝わるのか不安もありましたが、掲示を見た人から「看護師さんの日々の努力が伝わった」「さまざまな取り組みが実になってこの病院に生きている」との声が。準備に携わったスタッフ一同とてもうれしい気持ちになりました。

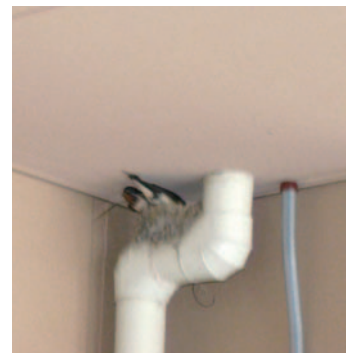
今できることを探した結果得られた新しい成果を胸に、この難局を病院一丸で乗り越えていきます。(看護師長 林 建宏)

〈神奈川〉湘南平塚病院

幸運の予兆!? 当院にツバメが巣づくり

5月のある夕方、病院裏手の職員入口の先の天井の隅に、ツバメの巣を見つけました。周囲を2羽のツバメが行ったり来たりしています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当院も非常事態に対応する厳しい体制が続いています。われわれ医療従事者は、院内感染を起こさないように、三密を避けたり外出自粛



を徹底したりするなど、自身の感染予防に人一倍気を遣い、張り詰めた生活を送っています。こうした中で目にしたその光景には、ほほ笑ましい気持ちにさせられました。

いつまで続くかわからないコロナ禍ですが、ツバメは幸運を運んでくると聞いています。「これからきつと良いことがあるから、もう少し頑張れ」と、知らせに来てくれたのだと思います。(済生記者 小川克己)

〈山口〉下関総合病院

三度目の優秀発表賞

「第50回日本看護学会—急性期看護—学術集会」(2019年7月・盛岡市)で発表した救急部の「救急外来看護師の看護ケアに対する意識向上を目指した入院後病室訪問の効果」が、優

秀発表賞を受賞しました。

この賞は2012年に創設。当院は同年に看護管理で、2015年にも看護教育で受賞しており、今回で3度目です。今回の研究では、救急外来で患者さん・ご家族の生の声を聴くことができ、看護ケアを見直すきっかけになりました。

看護研究期間が終了した現在も、救急外来から入院した患者



さんの病室訪問を継続するなど、より良い看護の実践を目指しています。

今後も、看護研究の積極的な取り組みを通して実践を振り返り、新たな看護の創造と質の向上を図っていきます。

(救急部部長 清水倫子)

〈兵庫〉特養ふじの里

RR-1グランプリ準優勝

2月20日、神戸市老人施設連盟主催の「第1回 RR-1グランプリ」に参加しました。

「RR-1」は、R（令和）R（老施連）の頭文字で、連盟傘下の各施設のさまざまな取り組みを



プレゼン形式で競うイベントです。予選を勝ち抜いた市内7ブロックの代表が集結。ふじの里は、ユニットに暮らす認知症高齢者に、本人視点で課題が明確になる「ひもときシート」を用い、多職種連携で解決に導いた事例を発表。

結果は惜しくも準優勝。1位は逃してしまいましたが、取り組みの過程で、チームケアにおいては職員個々の経験や勘に頼るのではなく、科学的根拠に基づいた情報の分析・検証が大切だと学びました。

すでに来年度の発表に向けて、ケア記録をわかりやすく見せる工夫や、ほかのプロジェクトや活動からの応募も検討中。次こそは優勝を目指します！

（ふじの里・なでしこ神戸
在宅部長 小俣文佳）

〈山形〉特養愛日荘

よりよい広報写真を追求 第5回フォトコンテスト

第5回フォトコンテストを開催し、1階ホールに約80枚の写真を展示。利用者さんや職員など多くの目を楽しませてくれました。

コンテストの開催目的は二つ。「良い写真とはどんなものを追求する」とことと、「広報に活用する」ことです。

対象は昨年撮影した写真で、「笑顔」「いきいき」「ふれあい」「アングル」「テーマ」の5部門のいずれかを選んでもらって応募を受け付け。数日間展示して、入居者さん・利用者さん・職員が投票し3月20日に開票して、部門ごとに得票数の多い写真が優秀賞に選ばれました。



以前は、なかなか良い写真が撮れず広報に使えないという意見も少なくなかったのですが、みんなの頑張りで今では良い写真が増えてきています。

（済生記者 高橋 睦）

載々

苦情対応のポイントを解説

〈滋賀〉特養淡海荘

口村介護課長

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介します

（日総研）第11巻第2号に、筆者が投稿した。テーマは「苦情から目を背けず真摯に対応していく心構え」です。

5月5日に発刊した『地域包括ケア時代の通所&施設マネジメント』

介護施設の事故や苦情の対応で中



核的な役割を担っているのは相談員で

はないだろうか。

本誌では、苦情対応に難渋した事例と円滑に進んだ事例の比較を通して、苦情対応の考え方や実践方法について言及。事例の分析から導き出された苦情対応のポイントとして、①まずは謝罪から入る②相談員一人で抱え込まない③医療機関に丁寧

つなぐこと、をあげた。

今回はショートステイの事例を取り上げているが、他の介護サービスにでも適用する内容となっている。

（介護課長 口村 淳）

誤認防止ツールの普及への取り組み

〈三重〉松阪総合病院
谷医療安全管理者

「病院安全教育4・5月号（日総研）」に、前安全管理室長の長沼達史副院長（故人）の遺稿を基に、当院の活動内容を寄稿した。

テーマは、「誤認をなくせ！8R（め・ぐすり・りよう・ほう・な・でい・し・こ）の挑戦」。

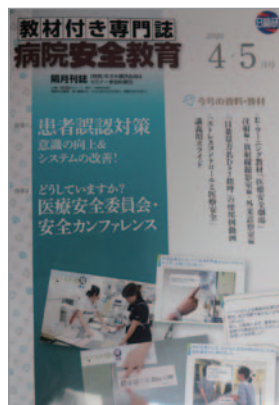
確認作業のエラーが40～50%を占めるなか、与薬原則である6Rの

認知も完全ではありません。その理由を探り、不足していた項目を加え、院内で独自のチェック項目として「8R＝目薬量方名Day指呼（めぐすりりようほうなでいしこ）」を作

成した。

済生会の紋章「なでしこ」をいれることで、職員にとっては親しみやすい、覚えやすい、有用な誤認防止ツールになりうると期待し、8Rによる確認の強化を伝えている。

（専従医療安全管理者 谷 真澄）



大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも。ご報告ください

エコいろいろ

院内のコンビニで買い物したときにもらうレジ袋。捨てるのがもったいないので、店員に相談したところ、エコバッグをいただきました。2～3年、愛用しています。

先日、エコバッグを持って歩いていると、レジ袋に昼食を入れて歩いている循環器科の先生とバッタリ。



私は、「先生もどうです？ 環境にも

広告索引

三井住友銀行
——表紙見返し[表紙2]

(株)キリンビバレッジ
——裏表紙見返し[表紙3]

アクサ生命保険(株)
富国生命保険(相)
日本生命保険(相)
第一生命保険(株)
大樹生命保険(株)
明治安田生命保険(相)
——裏表紙[表紙4]

次号予告

済生 No.1093
[令和2年7月号]

NEWS な済生人

済生会の不易流行論 (142)
炭谷 茂
この人 小芝風花

済生会交差点
口福につぼん (34)
まるごと完熟トマトゼリー
(岡山県・岡山市)

てづくりおもちゃ いまいみさ

優しいですよ」と、言う。「僕は再利用だから！」と一言。確かに再利用も環境に優しいし、ポケットの中に入れておいても邪魔にならない。再利用の方が実用的かも……。

環境に優しい取り組みつていろいろありますね。

(北海道・小樽病院

済生記者 松尾寛志)

公式インスタ開設しました！

新型コロナウイルスの影響でイベントもできなくなり、開設を見合わせてた当



院公式インスタグラム。それでも、困難なときだからこそ、病院敷地の美しい自然の写真や過去に開催したイベントを掲載していくことで、人の心を癒やしたり、少しでも元気に

なってもらいたいと思い、5月に開設しました。

みなさんぜひ、インスタグラムもフォローしてください！

(福岡・飯塚嘉穂病院

済生記者 松岡亜希)

目指せ！トリリンガル(?)

福岡で働き始めて2年がたちました。親が転勤族だったので、子どもの頃は、京都、滋賀、岡山で、学生時代と社会人になってからは広島で過ごしました。そのため両親と話すときは「関西弁」、友人と話すときは「広島弁」というバイリンガル(?)です！

福岡の方言

「しきらん」

(標準語で「できない」という言葉があります。私自身、まだまだ使わないだろう、と思っていたら先日無意識のうちに使っていました！

もう少しなじめばトリリンガル(?)になれるかな？

(福岡・飯塚嘉穂病院

総務課 藤原翔馬)



いつも心にユーモアを！

最近「かったやりにっかなあ〜！」(どうもやりにくいなあ〜)と、受付で苦笑いの患者さん。マスクを着けて、ビニールのれん越しでのやり取りとなると、声は聞き取りにくく、表情も読みとりづらい。意思疎通に不便を感じるのは当然です。

その患者さんは、「おい(僕)とおはん(あなた)はロミオとジュリー(恐らくジュリエットだと思ふ...)」！離されても想いは伝わる」と言いました。

このところ、人との距離感を失礼にならないように保つにはどうしたら良いのか——おっかなびつくりの日々ですが、のれん越しにもはつきりわかる患者さんの笑顔に緊張がほぐれました。

こういう時だからこそ、自分と相手を癒やし、癒やされるコミュニケーションを心がけたいです。

(鹿児島・川内病院

済生記者 竹之内美和)



済生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施療救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財団済生会を創立した。

以来今日まで108年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財団済生会となっている。

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
会長 有馬朗人
理事長 炭谷 茂

本部 東京 支部 40都道府県
病院 82

診療所 17

介護老人保健施設 30

救護施設 1

児童福祉施設 24

老人福祉施設 124

障害者福祉施設 7

看護師養成施設 8

訪問看護ステーション 58

地域包括支援センター 27

地域生活定着支援センター 5

その他 8

合計 391 (数字は平成30年度)

さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の62島の診療活動に携わっている。

職員数は全国で約6万2000人。

済 生

[令和2年6月号]

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和2年6月10日発行

通巻第1092号 (第96巻第6号)

編集兼
発行人 炭谷 茂

発行所 社会福祉法人財団済生会
〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビルディング21階

TEL: 03-3454-3311 (代)

FAX: 03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋

東京都中央区八丁堀4-4-1

© 社会福祉法人財団済生会

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN

この香りに
きつと驚く。

新 FIRE

直火
珈琲



済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、
個人保険に比べて
割安な保険料で
大きな死亡保障を!!

グループ保険

〔災害割増特約・こども特約・
こども災害割増特約付福祉団体定期保険〕

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)
手続きが簡単なうえ、
剰余金があれば
契約者配当金が戻ります。



① 終身医療保障プラン

〔手術給付特約・手術補完給付特約・
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担
保特約(入院保障保険(終身型 09)用)付
入院保障保険(終身型 09)〈60日型〉〕

② 医療保障プラン

〔高度先進医療給付特約・特定疾患給付
特約付医療給付金付個人定期保険〕

③ 総合医療あんしんプラン

〔総合医療保険(団体型)〕

(本人・配偶者・こども対象)

3つの保険より、
選択できます。



第二の人生を
充実させるために
今からご準備を!!

ゆうゆうライフプラン

〔拠出型企業年金保険、
医療給付金付個人定期保険〕

(本人のみ対象)



済生会グループ保険の次回一斉募集は
令和2年7月下旬頃にご案内予定です。



※このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 [事務幹事会社]
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

〔医療保険引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 (終身医療保障プラン・医療保障プラン)
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 (総合医療あんしんプラン)

法人サービスセンター
電話 0120-563-925

【受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取り扱いしておりません)】

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン・医療保障プラン取扱店〕

アクサ生命保険株式会社 公法人部
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7470

〔総合医療あんしんプラン担当営業部〕

日本生命保険相互会社 公務第一部
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086